etern / 永 / 「永」は「永遠」「永久」を直接連想しやすい / 簡単(5画)で、日本語圏・中国語圏双方に馴染みがある

1. nepr / 必 / 「必須」「必然」の「必」に相当 / 画数が少なく(5画)、意味も直感的に伝わりやすい
2. absolut / 绝对 / 中国語で「絶対」を表す最も一般的な語 / 2文字だが非常に頻出。日本語「絶対」に対応し、学習コストも比較的低め
3. dekstr / 右 / 「右」をそのまま表す / 単一字(5画)で明快
4. just / 义 / 簡体字で「义」は「正義」「義」の意を含む / 画数少なく(3～4画)、正義・公正のイメージをコンパクトに表せる
5. prav / 正 / 「正しい」「正当」の意 / 日本語・中国語ともに「正」の概念は馴染み深く、5画でシンプル
6. ĝust / 对 / 中国語では「正しい」「そうだ」「合っている」を示す / 5画で短く、会話でも頻出なので覚えやすい
7. valid / 有效 / 中国語で「有効」「効果がある」を最も端的に示す語 / 2文字だが日常的表現で学習コストも比較的低い
8. ja / 真 / 「まさに」「実に」のニュアンス。「真に」「確かに」に近い / 10画だが「真実」「真理」など日本語にも馴染みが深い
9. ver / 真 / 「本当の」「真実の」。9番と同じ字を再利用 / 後で上付き文字等で区別可能
10. aŭtentik / 真正 / 中国語で「真正(の)」「本物の」を示す常用表現 / 「真」(再利用) + 「正」(再利用) で新規漢字を増やさず済む
11. fakt / 事实 / 中国語で「事実」「ファクト」に対応する最も標準的な語 / 「事(8画)」「实(8画)」はやや多めだが、ともに頻出度は高い
12. efektiv / 现实 / 「現実的」「実際的」「効果的」の意味合いを持つ / 「现(8画)」+「实(再利用)」で表現。常用語
13. real / 真实 / 「現実の」「本当の」 / 「真」(再利用) + 「实」(再利用) で新規漢字を増やさない
14. virg / 处女 / 文字通り「処女」「童貞(女性側)」に近い表現 / 2文字(「处」「女」)だが中国語・日本語ともに意味を推測しやすい
15. pur / 纯 / 「純粋」を表す簡体字 / 7画程度だが、比較的頻出で「純」の簡体形
16. ĉast / 纯洁 / 「貞節」「清らか」など。文字通り「純潔」に相当 / 「纯」(再利用) +「洁(9画)」。両言語で意味を推測しやすい
17. banal / 凡 / 「凡庸」「ありふれた」を表す最短の単字 / 3画と非常に簡潔
18. krud / 生 / 「生の」「加工していない」「未熟」など / 5画で直感的
19. sovaĝ / 野 / 「野生の」「荒々しい」「未開の」など / 11画だが「野生」「野外」で馴染み深い
20. aplomb / 沉着 / 「沈着冷静」の「沈着」に相当 / 2文字(「沉(7画)」「着(11画)」)だが、標準的な表現
21. flegm / 冷静 / 「冷静さ」「落ち着き」 / 2文字(「冷(7画)」「静(14画)」)だが日常的かつ日本語とも対応

seren / 安 /  
選定理由: 「安」は「安らか」「安心」など“穏やか”“落ち着いた”ニュアンスを日中双方で連想しやすい。  
学習コスト: 画数は6画と比較的少なく、初学者にも馴染みやすい。すでに多義(安全・平安・安定・安らぎ)のある漢字なので汎用性も高い。

1. trankvil / 安 /  
   選定理由: 上記(seren)と同じく「落ち着いた」「静かな」といった意味を「安」一字でカバーできると判断。  
   学習コスト: 同一漢字を使い回すことで、学習者負担を抑える。
2. kviet / 安 /  
   選定理由: 「静か」「穏やか」といった意味合いが「安」と重なるため。  
   学習コスト: 同上。さらに複数の近義語を「安」に統合することで文字数削減。
3. komfort / 安 /  
   選定理由: 中国語の「安逸(ān yì)」「安乐(ān lè)」など“安らかで快適”なニュアンスを含むため、「快適さ・安楽さ」も「安」で連想しやすい。  
   学習コスト: 既出の「安」を流用し、追加の新漢字なし。
4. pac / 和 /  
   選定理由: 中国語の「和平」(平和)や日本語の「和やか/平和/調和」など、いずれも「和」に“平和・穏やか”のイメージがある。  
   学習コスト: 「和」は8画だが、後述する「harmoni」「akord」「konkord」など、調和・協調を表す語根との兼ね合いでも汎用性が高い。
5. moder / 中 /  
   選定理由: 「中」は「中庸(ちゅうよう)」「適度」「ちょうど中間」のイメージで“度を超えずちょうど良い”意味に近い。  
   学習コスト: 画数4画で非常にシンプル、日中ともに基礎的な漢字。
6. ekvilibr / 平衡 /  
   選定理由: 中国語で「平衡(píng héng)」は“バランス・均衡”の直接的な表現。日本語話者にも「平衡」は「平衡感覚」などでなじみがある。  
   学習コスト: 2文字だが「平」は5画、「衡」は16画とやや多め。ただし「平」は「平和」「平等」など多用される字で汎用性が高い。
7. kompromis / 妥协 /  
   選定理由: 中国語で「妥协(tuǒ xié)」は“妥協”の定番表現。日本語でも「妥協」のイメージにつながりやすい。  
   学習コスト: 「妥」(7画)と「协」(6画)で計13画。やや増えるが、妥当な2文字熟語として標準的。
8. agord / 调 /  
   選定理由: 中国語の「调(調)」は“調整・調和・(楽器を)調弦する”など“チューニング”を含む幅広い意味がある。エスペラントの“agord”＝「(楽器を)合わせる/設定する/調和させる」に対応しやすい。  
   学習コスト: 画数10画（讠＋周）だが「調整・調和・音調」など汎用性が高い。
9. harmoni / 和 /  
   選定理由: 「和」はまさに“調和・ハーモニー”の根幹。日本語でも「和音」「和声」、中国語でも「和谐(héxié)」などに通じる。  
   学習コスト: 既出の「和」を再利用。
10. akord / 和 /  
    選定理由: 音楽の“和音(chord)”や「合意(accord)」も「和」に通じる。「和声」「和議」などとの関連からも連想しやすい。  
    学習コスト: 同じく「和」を使い回し。
11. konkord / 和 /  
    選定理由: 「協調・一致・調和」を表す“concord”。これも「和合」「和睦」など“和”系語彙と親和性が高い。  
    学習コスト: 同上。
12. virt / 德 /  
    選定理由: 中国語「德(dé)」は“徳・美徳”の核心的な単語。日本語の旧字体「徳」にも相当し、意味連想が容易。  
    学習コスト: やや画数(15画)は多いが、「道徳」「品徳」などで頻用されるため汎用性はある。
13. konscienc / 良心 /  
    選定理由: “良心”は日中ともに同じ熟語(簡体字でも同形)で、意味が直観しやすい。  
    学習コスト: 2文字だが「良」(7画)と「心」(4画)で計11画。「良」「心」はいずれも初級レベルで認知されやすい。
14. etiket / 礼 /  
    選定理由: 「礼」は中国語・日本語双方で「礼儀」「礼節」をイメージしやすく、“礼儀”や“エチケット”の要素を含む。  
    学習コスト: 5画でシンプル。後述の「ĝentil」にも流用可。
15. moral / 德 /  
    選定理由: 中国語「道德(dào dé)」の後半「德」を単独で流用。すでに「virt(徳)」でも使用中なので、“道徳”＝“徳の概念”としてまとめてしまう。  
    学習コスト: 追加の新字を増やさずに済む。
16. etik / 伦 /  
    選定理由: 中国語「伦理(lún lǐ)」＝“倫理”の「伦」を抜き出し、倫理学(ethics)の中核を示す文字として提案。  
    学習コスト: 6画で比較的シンプル。ただし単独ではやや不自然だが「伦理」の主要要素として認識可能。
17. ĝentil / 礼 /  
    選定理由: “礼儀正しい・丁寧”を「礼」(礼節・礼貌)で大まかにカバー可能。「礼貌(lǐ mào)＝礼儀正しい」とも関連する。  
    学習コスト: 既出の「礼」を再利用。
18. komplez / 恩 /  
    選定理由: 「恩」は“恵み”“好意”“恩恵”など、“他人への親切”を含意する漢字。エスペラント“komplez”の「好意を示す・親切にする・お世話する」にマッチ。  
    学習コスト: 10画だが比較的よく使われる語(感恩、恩人など)で、日本語でも「恩」として通じる。
19. honest / 诚 /  
    選定理由: 中国語「诚实(chéng shí)」は“正直・誠実”の定番。「诚」自体が“誠実・嘘偽りのない”含意を持つ。  
    学習コスト: 左に「讠(言の簡体)」、右に「成」で10画相当だが、次の「sincer」にも流用可能。
20. sincer / 诚 /  
    選定理由: 「诚」は“誠実・真心”を表し、“honest”と“sincere”をまとめるのに十分対応可能。“偽りがない”という点で両者を包含。  
    学習コスト: 既出の同字を再利用。
21. pi / 虔 /  
    選定理由: 中国語「虔诚(qián chéng)」は“敬虔・信心深い”を意味し、この「虔」が“虔ましい(つつし)ましい・深い信心”を連想させる。  
    学習コスト: 9画でやや特殊だが、「虔诚」という熟語を知ると紐づけやすい。

fidel

* + 提案漢字: 忠
  + 選定理由: 中国語でも「忠诚(忠実)」「忠心」など、「忠」は忠実・誠実さを表す代表的な漢字。日本語でも「忠」は「忠誠・忠実」の意味合いとして直感的に理解しやすい。
  + 学習コスト: 8画。比較的シンプルかつ高頻度で、日中双方に馴染みがある。

1. lojal
   * 提案漢字: 忠
   * 選定理由: 「lojal(忠義な, loyal)」も「忠」の語感に近い。1と同様「忠」を使い回すことで学習コストを抑えられる。
   * 学習コスト: 同上(使い回しにより追加負担なし)。
2. intim
   * 提案漢字: 亲
   * 選定理由: 「親密」「亲密(中国語)」等の「親(亲)」は「近しく、内面的に深い関係」を連想しやすい。
   * 学習コスト: 4画。日本人にも「親」の簡体形と分かりやすく、中国語でも頻出なので比較的習得しやすい。
3. familiar
   * 提案漢字: 熟
   * 選定理由: 中国語では「熟」単独に「慣れている・熟知している」の意味があり、「familiar」のニュアンスをよく表せる。「心安い(親しい)」「熟れている」イメージとも重なる。
   * 学習コスト: 11画だが、「成熟」「熟悉」など派生語も多く、別の語根(成熟=“matur”など)とも兼用可能。
4. afabl
   * 提案漢字: 和
   * 選定理由: 「和」は「和やか」「温和」「平和」など、「穏やか・友好的・柔和」なイメージを広くカバーしうる。
   * 学習コスト: 8画。日本語でも中国語でも日常語彙に多用され、学習効果は高い。
5. tener
   * 提案漢字: 柔
   * 選定理由: 「優しい(やさしい)」のニュアンスを伝えるため、「柔和」「柔らかい」などに通じる「柔」を選択。中国語でも「柔」は「柔软」「温柔」などで「優しい・穏やか」のイメージ。
   * 学習コスト: 9画。「柔和(róuhé)」「温柔(wēnróu)」など関連熟語も多く、派生利用が見込める。
6. arĥaism
   * 提案漢字(熟語): 古语
   * 選定理由: 「古語(archaic language)」をそのまま簡体字化すると「古语」。中国語でも「古语(古代の言い回し)」という表現があり、日本語でも意味を類推しやすい。
   * 学習コスト: 既に「古」を他でも使うので、追加は「语」(“言”の簡体形)。頻度が高い漢字なので大きな負担にはならない。
7. arkaism
   * 提案漢字(熟語): 古语
   * 選定理由: 7と同義「古語」で同様に扱う。
   * 学習コスト: 「古」と「语」は既出で追加負担なし。
8. antikv
   * 提案漢字: 古
   * 選定理由: 「古代の」「古い」をシンプルに表現。すでに「古」を使っており、1文字で「古(ancient)」の意味が十分に伝わる。
   * 学習コスト: 5画。既出のため追加負担なし。
9. klasik

* 提案漢字(熟語): 古典
* 選定理由: 「古典(クラシック, classical)」は日中共通で直感的にわかりやすい。
* 学習コスト: 新たに「典」を導入(8画)。ただし「古」と組み合わせることで意味も取りやすい。

1. arkaik

* 提案漢字(熟語): 古风
* 選定理由: 中国語の「古风(gǔfēng)」は「古風」「古風情緒」を表す常用語。「archaic, 古風な」という意味に対応しやすい。
* 学習コスト: 新たに「风」(“風”の簡体形)を導入(4画)。高頻度ゆえ学習コストは比較的低い。

1. arĥaik

* 提案漢字(熟語): 古风
* 選定理由: 11と同義語のため同じ熟語で対応。
* 学習コスト: 使い回しにより追加負担なし。

1. matur

* 提案漢字: 熟
* 選定理由: 「成熟した」を一文字で表すなら「熟」(「熟す」「成熟」など)が最適。4(familiar)と兼用できる利点もある。
* 学習コスト: すでに4で登場済みのため追加負担なし。

1. plen/aĝ##

* 提案漢字(熟語): 成人
* 選定理由: 「成年の(大人の)」は中国語で「成人」「成年」と言う。より画数が少ない「成人」を採用。
* 学習コスト: 新出は「成」と「人」。いずれも非常に基本的なので学習コストは低い。

1. alt

* 提案漢字: 高
* 選定理由: 「高い」を1文字で直接表す基本漢字。日中共通。
* 学習コスト: 10画。高頻度で馴染み深い。

1. long

* 提案漢字: 长
* 選定理由: 「長い」の簡体字「长」は日本人にも容易に想像がつく。「长城」「长江」などで頻出。
* 学習コスト: 4画。中国語初心者にも馴染みやすい。

1. lac

* 提案漢字: 累
* 選定理由: 中国語日常表現「我累了(私は疲れた)」。疲労感を表す字としてよく使われる。
* 学習コスト: 11画。やや画数はあるが、中国語では非常に頻出なので比較的覚えやすい。

1. enu

* 提案漢字: 闷
* 選定理由: 中国語で「闷(mèn)」は「退屈」「鬱々とする」「つまらない」の感覚に近い。
* 学習コスト: 7～9画(「门」+「心」)。会話でもよく使う表現。

1. sek

* 提案漢字: 干
* 選定理由: 簡体字で「乾燥(干燥)」「干货(乾物)」など「乾いた」ニュアンスを1文字で表す。
* 学習コスト: 3画と非常に少なく、多義だが頻度が高い。

1. humid

* 提案漢字: 湿
* 選定理由: 「湿气(湿気)」「潮湿(湿った)」などで使われる代表的な字。
* 学習コスト: 12画。やや多めだが中国語で一般的。日本語の「湿」と同形。

1. acid

* 提案漢字: 酸
* 選定理由: 「酸っぱい」「酸性」を端的に表す基本字。
* 学習コスト: 14画とやや多いが、味覚・科学用語で頻繁に登場するため汎用性は高い。

1. ranc

* 提案漢字(熟語): 酸败
* 選定理由: 「酸败(さんぱい)」は中国語で「酸化して劣化する」「酸化による腐敗」を指す語で、「酸敗した(=rancid)」の意味に近い。日本語にも「酸敗(さんぱい)」という表現があり、意味が推測しやすい。
* 学習コスト: 「酸」は既出、新出の「败」(“敗”の簡体字)は8画。やや新規導入だが常用字であり、日本人にも「敗」の字形から推測しやすい。

### **1) fort →** 强

1. fort
2. 强
3. 「強い」「強力」などの意味を表すうえで、もっとも直接的・頻出度の高い簡体字。日本語の「強」にも対応し、意味が直感しやすい。
4. 一文字でシンプルかつ汎用性が高い。すでに多くの文脈で使われる字なので学習コストを抑えやすい。

### 2) intens → 强烈

1. intens
2. 强烈
3. 「強烈な」「激しい」を表す標準的な二字熟語。日本語の「強烈」とほぼ同じ語感を持つため、日本人にもわかりやすい。
4. 「强」はすでに fort で登場済み。「烈」は新規だが、中国語でも頻出度が比較的高く、「强烈」はよく使われる組み合わせのため学習コストは比較的許容できる。

### 3) firm → 坚固

1. firm
2. 坚固
3. 「堅固な」「しっかりしている」の意味として、中国語で一般的に用いられる熟語。「坚(堅)」と「固」はともに「固い」「しっかりしている」を示す。
4. 「坚」はやや画数が多めだが、中国語で「坚强」「坚固」など頻繁に使う字。「固」も同様に頻出度が高く、別語根でも再利用が見込める。

### 4) fortik → 顽强

1. fortik
2. 顽强
3. 「頑丈な」「頑健な」「粘り強い」などを表すのに適した二字熟語。日本語の「頑強」に近いニュアンス。
4. 「顽」は #6(下記 obstin) でも再利用予定。「强」はすでに #1 や #2 で登場済み。よく使われる組み合わせのため学習コストを抑えられる。

### 5) rigid → 硬

1. rigid
2. 硬
3. 「硬い」「堅い」「剛直な」を表す最も直接的な簡体字。日本語の「硬」と同じ字形(繁体では「硬」も同形)。
4. 一文字で簡潔に示せる点が利点。日常使用頻度も高く、学習コストは比較的低い。

### 6) obstin → 顽固

1. obstin
2. 顽固
3. 「頑固な」「固執している」という意味の中国語表現。「顽強」の「顽」と、「坚固」の「固」で構成されており、いずれも「強情」「堅さ」のニュアンスを持つ。
4. 「顽」は #4 で登場済み、「固」は #3 で登場済み。熟語としても非常に一般的で学習コストをさらに下げられる。

### 7) pez → 重

1. pez
2. 重
3. 「重い」を表す最も基本的な漢字。日本語でも「重」と同形なので理解しやすい。
4. 一文字で頻度が高く、学習コストは低い。のちに「重大」「沉重」「严重」など多くの応用形にもつながる。

### 8) masiv → 重

1. masiv
2. 重
3. 「どっしり重い」「質量感がある」という意味。中国語では「沉重」「笨重」など様々な言い方があるが、すでに pez と同じ「重」を使うことで学習コストを削減。
4. 同じ「重」を使い回すことにより、学習すべき新規漢字を増やさないメリットがある。文脈や上付き文字等で区別可能とする方針に合致。

### 9) dik → 粗

1. dik
2. 粗
3. 「太い」「厚みがある」「粗い」といった意味合いをカバーできる単字。中国語で「粗大」「粗壮」といった表現にも使われ、太さや厚みを表しやすい。
4. 日本語でも「粗い」「粗大」などでおなじみの字であり、比較的認知しやすい。

### 10) dens → 密

1. dens
2. 密
3. 「濃い」「密集している」「詰まっている」という意味を表せる基本的な字。日本語でも「密度」「秘密」などで認知度が高い。
4. 画数はやや多いが、使用頻度が非常に高い漢字。ほかの語根で「秘密」「亲密」など派生利用が見込め、学習コストを回収しやすい。

### 11) elast → 弹性

1. elast
2. 弹性
3. 「弾力」「弾性」をそのまま表す熟語。中国語でも「弹性(弹力)」は「伸縮性」「弾力性」という意味で広く使われる。
4. 「弹」は「弾く」「弾丸」などでよく使われ、「性」も多くの抽象名詞(可能性・特性 など)に登場。再利用性が高いため学習コストを抑えられる。

### 12) mol → 软

1. mol
2. 软
3. 「柔らかい」「軟らかい」を表す、簡体字での基本形。日本語の「軟」に対応する。
4. 一文字で単純明快かつ高頻度。多くの派生語(软件=ソフトウェア など)にも登場し学習コストを回収しやすい。

### 13) dolĉ → 甜

1. dolĉ
2. 甜
3. 「甘い」を意味する基本漢字。日本語の「甜」はあまり一般的でないが、中国語では頻度が高い(「甜味」「甜食」など)。
4. 一文字かつ画数も少なく、意味も直感的。学習しやすい。

### 14) mild → 温和

1. mild
2. 温和
3. 「温和な」「穏やかな」を示す標準的な熟語。日本語にも「温和」という表現があるので意味をつかみやすい。
4. 「温」「和」いずれも高頻度の漢字で、派生利用も豊富。学習コストを許容範囲に収めつつ、ニュアンスを的確に伝えられる。

### 15) glat → 滑

1. glat
2. 滑
3. 「なめらか」「つるつる」「すべる」といったニュアンスを表せるシンプルな一文字。中国語でも「光滑」「滑动」など多数用例がある。
4. 一文字でコンパクトに表現でき、すでに頻出度が高い漢字。学習コストも比較的低い。

### 16) delikat → 精细

1. delikat
2. 精细
3. 「繊細な」「精巧な」を意味する熟語。中国語で「精细」は「非常に細かく丁寧な」というニュアンス。
4. 「精」は「精力」「精神」など多数派生があり、「细」も「细节(細部)」「仔细(綿密に)」などで使われる。どちらも再利用性が高い。

### 17) subtil → 微妙

1. subtil
2. 微妙
3. 「微細」「微妙」「繊細」を表すのに適した熟語。日本語の「微妙」とほぼ同様の意味をもち、ニュアンスを正確に伝えやすい。
4. 「微」は「微小」「微生物」などにも使われ、「妙」も「巧妙」「奇妙」など多くの派生がある。学習コストを回収しやすい組み合わせ。

### 18) ombr → 影

1. ombr
2. 影
3. 「かげ」「影」「映像」を表す基本漢字。中国語でも「影子」「电影」など「影」を含む語が非常に多い。
4. 一文字で意味が分かりやすく、日本語でも「影」とほぼ同形。頻出度も高いため学習コストは低め。

### 19) nuanc → 细微

1. nuanc
2. 细微
3. 「微妙な差異」「ニュアンス」の意味を表しやすい熟語。「细微的差别(細微な差)」のように使う。
4. 「细」(#16で登場) と「微」(#17で登場) の組み合わせなので、新しい漢字が増えず学習コストを抑えられる。

### 20) fulm → 闪电

1. fulm
2. 闪电
3. 「稲妻」「雷光」を指す一般的な表現。中国語では「闪电(閃電)」が「稲妻」に相当する。
4. 「闪」は「閃」(日本語ではあまり一般的でないが、中国語では「闪存」「闪光」など頻出)。  
   「电」は「電」の簡体字で、日本人にも意味がつかみやすい。

### 21) polur → 抛光

1. polur
2. 抛光
3. 「磨いて光沢を出す」「研磨する」を指す熟語。業界用語的にもよく使われる。
4. 「抛」は新規だが、「光」は次(#22)で再利用可能。どちらも比較的画数が少なく、派生も多い(「闪光」「光明」など)。

### 22) hel → 光明

1. hel
2. 光明
3. 「明るい」「光り輝く」「希望に満ちた」といった意味を表す二字熟語。日本語でも「光明」は「明るい光・未来が開ける」といったニュアンス。
4. 「光」は #21 で登場済み。「明」は中国語で「明亮」「明白」「明天」などにも使われ、再利用性が高い。

lum / 光 / 「光」は「光・光る」を直感的に示す常用字 / 画数(6画)も少なく、日本語圏・中国語圏ともに意味が取りやすい

1. bril / 明 / 「明るい」「輝く」ニュアンスを含む常用字 / 画数(8画)は比較的少なく、既出や今後の熟語でも用いられる可能性大
2. diafan / 半透明 / 「半透明」を示す標準的な中国語表現 / 「半(5画)」「透(10画)」「明(8画)」でやや文字数は多いが、いずれも日中ともに比較的認知度が高い
3. konciz / 简明 / 中国語で「簡明」は「簡潔」を意味する慣用的な組み合わせ / 既に「明」を使っており、「简(10画)」のみ新規導入
4. facil / 易 / 一文字で「易しい・容易」を表す常用字 / 画数(8画)・頻度ともにまずまずで、日本語圏にも「易しい」という形で馴染みがある
5. simpl / 简 / 「簡単」「シンプル」を一文字で示せる簡体字 / 「简明」で既出の「简」を単独使用して学習コストを低減
6. klar## / 未対応 / 末尾「##」が付されているため語根ではなく、割当は行わず未対応とする
7. evident / 明显 / 「明らか」「顕著」を意味する標準的な二文字熟語 / 既出の「明」を再利用し、「显(8画)」を新規導入
8. klar / 明白 / 「明白」は「はっきりしている、分かりやすい」の意で日中双方で認識しやすい / 「明」は既出、「白(5画)」は後述の「blank」で使うため学習コスト節約
9. ebon / 乌木 / 中国語で「黒檀」「ウバンニー」を意味する一般的名称 / 「乌(4画)」「木(4画)」どちらも画数が少なく覚えやすい
10. nigr / 黑 / 「黒」を表す代表的な簡体字 / 画数(12画)はそこそこあるが、最も基本的な「黒」の字として日中ともに連想しやすい
11. negr / 黑人 / 「黒人」を表す標準的な二字熟語 / 既出の「黑」に加え、「人(2画)」を導入
12. blank / 白 / 「白」を示す最も基本的な常用字 / 画数(5画)も少なく、日本語でも「白」として認知度が高い
13. albin / 白化病 / 医学的に「アルビノ」を表す中国語標準用語 / 「白」は既出、「化(4画)」「病(10画)」を新規導入するが、いずれも頻出かつ意味が分かりやすい
14. pal / 苍白 / 「青白い、顔色が悪い」を表す慣用表現 / 「白」は既出、「苍(7画)」のみ新規だが日中で意味を推測しやすい
15. blond / 金发 / 「金髪」を表す中国語の一般的な言い方 / 「金(8画)」「发(5画)」は日中両方で頻出(日本語の「発」の簡体形としても連想可能)
16. blu / 蓝 / 「青」「青色系」「ブルー」を示す標準的な簡体字 / 画数(13画)はやや多いが、最も一般的な「青(蓝)」表現
17. flav / 黄 / 「黄色」を示す簡体字 / 画数(11画)だが、日本語「黄」と共通で理解しやすい
18. brun / 棕 / 「茶色・褐色系」を示す簡体字 / 「棕(12画)」は一文字で「ブラウン」を示す代表的用字
19. griz / 灰 / 「灰色」を表す一文字 / 画数(6画)と少なく、日本語でも「灰」で認識可能
20. lazur / 天蓝 / 「空色・スカイブルー」を意味する慣用表現 / 既出「蓝」に「天(4画)」を組み合わせ、日中ともに理解が容易
21. purpur / 紫 / 「紫色」を表す一文字 / 画数(11画)でやや多いが、日中で広く通用する基本色名

skarlat / 红 /

* + 選定理由: 「scarlet(緋色)」は「赤系統」の色。簡体字で画数が少なく、汎用度の高い「红」を流用。
  + 学習コスト: 「红」は他の赤系色(ruĝ, puncなど)とも共有でき、重複使用で学習負担を削減。

1. verd / 绿 /
   * 選定理由: 「緑」を表す最も一般的な簡体字「绿」を割当。
   * 学習コスト: 基礎色を表す常用字のため、日本語話者・中国語話者どちらにも馴染みがある。
2. verdigr / 铜绿 /
   * 選定理由: 「verdigris(緑青)」は「銅のサビ(青緑色)」を指すため、中国語で一般的な「铜绿」を採用。
   * 学習コスト: 「绿」をすでに使用しており、ここでは「铜」を新たに学習するが、金属名を表す常用字として汎用性が高い。
3. ruĝ / 红 /
   * 選定理由: 「赤色」を代表する簡体字「红」を使用し、画数が少なく他の赤系統とも共有可能。
   * 学習コスト: すでに1番目(skarlat)でも「红」を使っているため追加負担はほぼない。
4. punc / 红 /
   * 選定理由: 「ひなげし色」(poppy-red)も赤系統の一種として、同じ「红」を活用。
   * 学習コスト: 赤系は一律で「红」を使い回すことで、学習コストを大幅に抑える。
5. novjork / 纽约 /
   * 選定理由: 「ニューヨーク」の中国語表記として広く使われる「纽约」をそのまま採用。
   * 学習コスト: 地名表記として定着しており、日本語・中国語どちらも違和感がない。
6. jork / 约克 /
   * 選定理由: 「ヨーク」の中国語表記「约克」。前項(ニューヨーク)と共通の偏旁「约」を活かせる。
   * 学習コスト: 地名の一般的表記。「约」は「纽约」と同じ漢字を再利用。
7. nikola / 尼古拉 /
   * 選定理由: 「ニコラウス(Nicholas)」は中国語表記「尼古拉」が最も一般的。
   * 学習コスト: 人名表記としては定着。「尼」「古」「拉」は他の人名でも再度利用されうる。
8. nikodem / 尼哥底母 /
   * 選定理由: 「ニコデモ(Nicodemus)」の聖書等での一般的表記は「尼哥底母」。
   * 学習コスト: 「尼」や「哥」は他でも使われやすいが、「底」「母」はやや新規。ただし人名として標準的表記。
9. nikel / 镍 /

* 選定理由: [化]ニッケルは簡体字で「镍」。金属名としてはこれが標準。
* 学習コスト: 金属を表す常用字。「铜」(verdigr)と同様、化学・金属分野では汎用性がある。

1. nanken / 南京布 /

* 選定理由: 「ナンキン(南京)木綿」を示すとき、漢語圏では「南京布」などと表記されることがあるため。
* 学習コスト: 「南」「京」「布」は比較的基本的な漢字であり、いずれも汎用度がある。

1. nikotin / 尼古丁 /

* 選定理由: [化]ニコチンの中国語表記として一般的な「尼古丁」を採用。
* 学習コスト: 「尼」「古」は既出(ニコラ、ニコデモなど)で、「丁」(2画)も画数が少なく負担が小さい。

1. elektr / 电 /

* 選定理由: 「電気」を表す簡体字の基本形「电」を採用。
* 学習コスト: 極めて汎用度が高く、以後の派生語(電話・電路など)にも連動しやすい。

1. elektronik / 电子 /

* 選定理由: 「電子工学(electronics)」を簡潔に表す場合、日常的には「电子(学)」と言う。短く「电子」で統一。
* 学習コスト: 「电」+「子」の組み合わせで、既出の「电」を再利用し、新出「子」(3画)は学習しやすい。

1. ret / 网 /

* 選定理由: 「網」を意味する最もシンプルな簡体字「网」を割り当て。
* 学習コスト: 常用字で画数も少ない(4画)。

1. cirkvit / 电路 /

* 選定理由: [電]回路＝「电路」は中国語で非常に一般的。「电」を流用し、「路」を追加。
* 学習コスト: 「电」は既出、新出「路」はやや画数多め(13画)だが、交通用語などで広く使われるため汎用性はある。

1. orel / 耳 /

* 選定理由: 「耳朵」でも良いが、画数を抑えたいので一文字「耳」を採用。
* 学習コスト: 基本的な身体部位を表す常用字。

1. aŭd / 听 /

* 選定理由: 「(を)聞く」の意。中国語で「听见」などの「听」(聞く)を適用。
* 学習コスト: 常用動詞の一文字。「听」は画数が7画と比較的少なめ。

1. aŭskult / 听 /

* 選定理由: 「(を)聴く」も同じ「听」を使い回し(聴く・聞くの区別は上付き文字などで対応)。
* 学習コスト: 「aŭd」と同字を使うことで新規負担を減らす。

1. mikrofon / 麦克风 /

* 選定理由: 中国語で一般的な音訳「麦克风」。ほかに「话筒」もあるが、より馴染みがある。
* 学習コスト: 「麦」「克」「风」は比較的基本的な字で、外来語表現として定着している。

1. telefon / 电话 /

* 選定理由: 「電話」を意味する中国語「电话」。既出の「电」に「话」を追加。
* 学習コスト: 「话」(13画)は日常会話関連などでも汎用性があり、理解しやすい。

1. telegraf / 电报 /

* 選定理由: 「電信機」＝「电报(机)」だが、主に「电报」として簡潔に。
* 学習コスト: 「电」は既出、「报」は7画。「报纸」などでも使われるため汎用度あり。

faktor / 因素 /

* + 選定理由：「因素」は現代中国語で「要因・要素」を表す標準的な語。1文字で「因」だけにすると「原因」との重複が大きく曖昧になりがちなので、ここでは2文字熟語の「因素」を採用。
  + 学習コスト：「因」は他でも使うため再利用しやすい。「素」は日本語でも「要素」「元素」などに通じるため理解しやすいが、本割当でしか使わない可能性はある。

1. kaŭz / 原因 /
   * 選定理由：「原因」は「理由・起因」を示すうえで日中いずれでも直感的。
   * 学習コスト：「原」(10画)と「因」(6画)はいずれも常用。後続の「一切原因」などでも再登場。
2. motiv / 动机 /
   * 選定理由：「动机」は中国語で「動機」を意味する一般的な表現。日本語でも「動機」の字面から意味を推測しやすい。
   * 学習コスト：「动」(6画)、「机」(6画)はいずれも頻出偏旁を含み、今後（移動・機会など）再利用が見込める。
3. kial / 为什么 /
   * 選定理由：現代中国語の代表的な「なぜ？」＝「为什么」。日本語話者でも「為」「何」の字形から「何のため？」を連想しやすい。
   * 学習コスト：「为」(4画)はこの後「因为」「为了」などで再登場。「什」「么」は「何」の音形を持つ熟語として学びやすい。
4. kial## / 为什么 /
   * 選定理由：上記「kial」と同義扱いのため同じ「为什么」を提案。
   * 学習コスト：同上。
5. ial / 某因 /
   * 選定理由：「ある理由で」を比較的短く表すために「某因」（“ある原因”）という構成を採用。中国語としてはやや文語寄りだが、字義から「なんらかの原因」を推測しやすい。
   * 学習コスト：「某」(9画)は「ある～」を示す漢字で、今後ほかの「不特定」を示す表現で使う可能性あり。「因」は既出。
6. ĉial / 一切原因 /
   * 選定理由：「あらゆる理由」を表すため「一切原因」を提案。直訳すれば「すべての原因」。
   * 学習コスト：「一」(1画)と「切」(4画)は単純でわかりやすく、「原因」部分は既出なので学習負担が抑えられる。
7. ĉar / 因为 /
   * 選定理由：「～だから」「～なので」を表す基本の接続詞として、中国語の「因为」が最も一般的。
   * 学習コスト：「因」「为」は既出あるいは今後「为了」「因为…所以…」などに再利用可能。
8. ĉar## / 因为 /
   * 選定理由：上記「ĉar」と同義扱い。
   * 学習コスト：同上。
9. tial / 所以 /

* 選定理由：「それゆえ」「したがって」を表す中国語の代表的な接続詞。
* 学習コスト：「所」(8画)、「以」(5画)はいずれも頻出度が高く、「因为…所以…」という構文で組み合わせ再利用が可能。

1. pro / 由于 /

* 選定理由：「（～の）ために（原因）」を示す際、中国語では「由于」が「…なので」「…が原因で」の意味で広く使われる。
* 学習コスト：「由」(5画)と「于」(3画)はいずれも比較的画数が少なく、他の熟語でも見かける頻度が高い。

1. por / 为了 /

* 選定理由：「（～の）ために（目的）」を表す熟語として極めて一般的。「为了…」は「…するために」という意味を持つ。
* 学習コスト：「为」は既出、「了」(2画)は簡単で、学習負担が軽い。

1. prez / 价 /

* 選定理由：価格を示すシンプルな1文字として「价」を採用（「价格」だと2文字になる）。中国語では「价钱」「物价」などの形でよく使われ、意味を推測しやすい。
* 学習コスト：「价」(6画)のみなのでシンプル。

1. statur / 身高 /

* 選定理由：身長を表す中国語の一般的な表現。「身高」（身体の高さ）。
* 学習コスト：「身」(7画)と「高」(10画)は日中で頻出し、ほかの熟語（身体・高中など）にも応用しやすい。

1. diametr / 直径 /

* 選定理由：[数]直径を表す中国語の標準形。「直」は「まっすぐ」、「径」は「経路・通り道」の意。
* 学習コスト：「直」(8画)、「径」(8画)はいずれも幾何学用語などで転用可能。

1. latitud / 纬度 /

* 選定理由：[地]緯度を表す簡体字。中国語でも日本語でも「緯度」とほぼ同形。「度」は経度・温度などにも用いる。
* 学習コスト：「纬」(7画)、「度」(9画)。「度」は再登場予定（下記「经度」など）で学習コスト低減。

1. longitud / 经度 /

* 選定理由：[地]経度を表す標準簡体字。日中での意味が一致。
* 学習コスト：「经」(7画)＋「度」(9画)。「度」は既出なので新規は「经」のみ。

1. milion / 百万 /

* 選定理由：100万を表す中国語の一般表現。「百」×「万」＝100×1万＝10万×10＝100万。
* 学習コスト：「百」(6画)は下記「cent」で、また「万」(3画)は非常に画数が少なく再利用可能。

1. miliard / 十亿 /

* 選定理由：10億（1,000,000,000）の中国語標準表記。
* 学習コスト：「十」(2画)、「亿」(3画)はいずれも基本数詞で学びやすい。

1. mil / 千 /

* 選定理由：千(1,000)を表す常用漢字。「千」は画数が少なく、数字系列の基数詞として必須。
* 学習コスト：わずか3画でシンプル。

1. cent / 百 /

* 選定理由：百(100)を表す常用漢字。上記「百万」などの複合でも登場。
* 学習コスト：6画。数字の基本語で汎用性が高い。

1. nul / 零 /

* 選定理由：0を表す漢字として、中国語では「零」が標準的。
* 学習コスト：やや画数は多い(13画)が、漢数字の一種として認知度は高い。

nul## / 零 /

* + 選定理由: 「ゼロ」を表す簡体字として最も標準的。日本語圏でも「零点(れいてん)」等の語で目にする機会がある。
  + 学習コスト: 画数(13画)はやや多めだが、「ゼロ」の概念を示す基本的な漢字として使用頻度が高い。

1. miriad / 无数 /
   * 選定理由: 「無数」「数えきれない」を直接表す簡体字熟語。日本語「無数」との対応も分かりやすい。
   * 学習コスト:
     + 「无」(4画)と「数」(13画)の2文字。
     + 既に他の“数”関連語(例: cifer 等)で「数」を使い回せる点で有利。
2. cifer / 数 /
   * 選定理由: 「数字・数値」を表す際、中国語でも「数字(数＋字)」が基本。ここでは単独の「数」で「cifer(数字/暗号/桁)」を対応させる。
   * 学習コスト:
     + 漢字1文字のためシンプル。
     + 「nombr」「numer」など“数”関連語とまとめて「数」で統一し、将来的にはサブスク립ト区別を想定。
3. nombr / 数 /
   * 選定理由: 「数量・数える」という意味合い。「cifer」と同じく数字や数を扱う語なので、\*\*同じ「数」\*\*を再利用。
   * 学習コスト:
     + 新規漢字を増やさずに済む。
     + 細かい意味の違い(「桁」「個数」など)は後でサブスクリプト等で区別。
4. numer / 数 /
   * 選定理由: 「番号・号数」の意味だが、中国語で「数字を割り振る」感覚は「数」と重複部分が多い。ここも一括して「数」に統合。
   * 学習コスト:
     + 既出の「数」を流用し、学習すべき漢字の種類を抑える。
5. centimetr / 厘米 /
   * 選定理由: 中国語でセンチメートルを表す標準表記。日本語でも「厘」自体は「1/1000」の意があり、「米」は既に「メートル(米)」で使う文字。
   * 学習コスト:
     + 「厘」(10画)と「米」(6画)の2文字。
     + 「米」はメートル(metr)で再利用でき、学習効率を高められる。
6. col / 英寸 /
   * 選定理由: 中国語でインチを表す一般的表現。「寸」だけだと中国伝統の「1/10尺」で約3.3cmとなり混乱を招くため、\*\*「英寸」\*\*が通例。
   * 学習コスト:
     + 「英」(8画)は「英里」「英文」等、多方面で登場しやすい汎用性あり。
     + 「寸」(3画)は画数が少なく、学びやすい。
7. kilometr / 公里 /
   * 選定理由: 中国語でキロメートルを表す最も一般的な単語。日本語話者も「公(おおやけ)」「里(さと)」の字形は比較的なじみがある。
   * 学習コスト:
     + 「公」(4画) + 「里」(7画)。
     + 「里」は後述の英里(mejl)とも共用できる。
8. mejl / 英里 /
   * 選定理由: マイルを表す標準的中国語。「英」(英寸と同じ) + 「里」(公里と同じ)で統一。
   * 学習コスト:
     + 新規漢字ゼロ。既出の「英」「里」を再利用し、学習コストを抑えられる。
9. metr / 米 /

* 選定理由: メートルを単純に「米」とするのが中国語の一般的表記。日本語の音読み「ベイ」でも「米」は計量単位として馴染みがある。
* 学習コスト:
  + 既に「厘米」「公里」等で「米」が登場。重複利用で効率的。

1. milimetr / 毫米 /

* 選定理由: ミリメートルを指す標準的な中国語。「毫」は「1/1000」を意味する要素。
* 学習コスト:
  + 「毫」(11画) + 「米」(6画)の2文字。
  + 「米」は既出、ただし「毫」は新出だが、単位周りで統一的に利用可。

1. centim / 分 /

* 選定理由: [貨]サンチーム(centime)は「1/100」単位の貨幣。中国語で小額貨幣を「分」とも呼ぶ(人民元の1/100)。
* 学習コスト:
  + 「分」(4画)はすでに「minut」(分)など時間でも使われる可能性大。
  + 通貨の分と時間の分はサブスクリプト等で区別予定。

1. cend / 分 /

* 選定理由: [貨]セント(cent)。同じく「1/100」の概念で中国語の「分」と対応させる。
* 学習コスト:
  + 上記「centim」と同様に「分」を再利用。学習漢字増加を回避。

1. minut / 分钟 /

* 選定理由: 時間の「分」を表す場合、\*\*中国語では「分钟」\*\*が定型表現。単に「分」だけだと通貨の「分」と被ってしまうため、ここは敢えて「分钟」。
* 学習コスト:
  + 「分」(4画)は既出だが、「钟」(9画)が新規。ただし「钟」は「時間・ベル・時計」等で使用頻度が高い。

1. sekund / 秒 /

* 選定理由: 時間の「秒」を表す単一漢字として「秒」が最も標準的。日中双方で分かりやすい。
* 学習コスト:
  + 「秒」(9画)は初出だが、時間単位として汎用性が高い。

1. pasport / 护照 /

* 選定理由: パスポートを表す中国語の一般的表現。「護照」の簡体字。
* 学習コスト:
  + 「护」(7画)と「照」(13画)。やや合計画数は多いが、他に一般的な1文字は存在しないため標準表現を採用。

1. viz / 签证 /

* 選定理由: ビザ(visa)を表す最も標準的な現代中国語。「签」+「证」。
* 学習コスト:
  + 「签」(9画)と「证」(7画)。どちらも頻度の高い字で、書類手続き関連で再利用可能。

1. diplomat / 外交官 /

* 選定理由: 外交官を意味する標準的中国語。「外交(外+交)」+「官」。
* 学習コスト:
  + 「外」(5画)「交」(6画)「官」(8画)。すでに「外交」を次の語根にも流用予定。

1. diplomati / 外交 /

* 選定理由: 外交(行為そのもの)を表す基本語。「外交官」から「官」を外した形で再利用。
* 学習コスト:
  + 「外」「交」は「外交官」でも用いており重複利用可能。

1. ambasad / 大使馆 /

* 選定理由: 大使館の標準的中国語。「大使(大+使)」+「馆」。
* 学習コスト:
  + 「大」(3画)・「使」(8画)は比較的なじみがあり、「馆」(11画)は「食堂(饭馆)」「博物馆」などでも使うため汎用性あり。

1. ambasador / 大使 /

* 選定理由: 大使(要職)を表す中国語。「大使馆」と共通の要素。
* 学習コスト:
  + 既出の「大」+「使」をそのまま流用できるため、新出なし。

1. perspektiv / 展望 /

* 選定理由: 「展望・見通し」の意味を表す一般的な熟語。日本語でも「展望台」「将来を展望する」等で馴染みがある。
* 学習コスト:
  + 「展」(10画)と「望」(11画)はやや画数が多めだが、日中で意味を推測しやすい表現。
  + もし「視角」「前景」など他の候補を使う場合も、同程度の画数・類似度合いになる。

pejzaĝ / 景 /  
「景」は「風景(风景)」「景色」などの語に含まれ、日中双方で「景観」「景色」を連想しやすいため。 /  
単体でも「景」は比較的よく使われる字であり、日本語でも「景(ケイ)」として馴染みがある。画数は12画だが、今後「背景」「全景」など他の熟語でも用いる可能性が高く、学習コストは許容範囲。

1. panoram / 全景 /  
   「パノラマ」を表す既存の簡体字表現として「全景」が定着しているため。「全」+「景」で“全体の景色”を示す。 /  
   既に「景」を導入済みなので「全」の新規追加のみ。どちらも日中で意味把握しやすく、学習コストも比較的低い。
2. vizit / 访 /  
   「訪問」の簡体字表記「访问」などに含まれる「访」を抜き出して使用。“訪れる”の意を単字で示す際の代表格。 /  
   日本語の「訪(ホウ)」の簡体字形であり、中国語でも「访问」「拜访」で広く用いられるため、比較的頻度は高い。単字利用にはやや文脈依存だが、学習コストは6画と少ない。
3. turism / 观光 /  
   「観光」を表す簡体字は「观光」。観光=ツーリズムという認識が日中ともに通りやすい。 /  
   「观(觀)」(6画)と「光」(6画)はいずれも非常に基本的な偏旁・熟語に多用される字で、かつ2文字合計12画と画数も比較的抑えめ。
4. turist / 观光客 /  
   「tourist＝観光客」を示す最も直接的な表現。すでに「观光」を導入したので、そこに「客」を付与して「観光客」。 /  
   新出は「客」(9画)のみ。「客」は「乗客」「来客」など転用可能性が高く、学習効率を損ないにくい。
5. guvern / 育 /  
   「(子供を)養育する」「家庭教師として世話をする」というニュアンスをシンプルに表し得る漢字として「育」を選択。 /  
   既に「育」は「教育(＝eduk)」等で再利用予定があり、重複使用が歓迎される本方針と合致。8画と比較的コンパクト。
6. instru / 教 /  
   「教える」「教授する」などの核心を一字で表すなら「教」が適当。 /  
   日中いずれも頻出字で、今後「教育」「教授」などにも転用するため学習コストを下げられる。
7. eduk / 教育 /  
   「教育する」を端的に表す中国語既存表現は「教育」。 /  
   「教」(既出)＋「育」(既出)で新たな文字は増えず、2文字の組み合わせだが学習負担は低い。
8. didaktik / 教学 /  
   「教学」は「教育・教授行為(ディダクティクス)」を指す際によく使われる短い既存語。「教学法」などとも近い。 /  
   「教」(既出)＋「学」(新出)。いずれ「学校」「学生」等で「学」を再利用できるため、学習コストの割が良い。
9. pedagog / 师 /  
   「教育者」「教師」を単字で示すのに「师」(師の簡体字)が最もコンパクト。 /  
   「師」は日本語でも「医師」「教師」「師匠」などに使われ、意味が分かりやすい。6画と画数も少なめ。
10. pedagogi / 教育学 /  
    「教育学」「教職学」といったアカデミック領域を示す語として「教育学」が既存表現。 /  
    「教」「育」「学」すべて既出の文字で構成でき、追加の新規負担なし。
11. seminari / 研讨会 /  
    「(学術)セミナー」の訳として簡体字で定着しているのが「研讨会」。 /  
    新出文字は「研」「讨」「会」。今後「研究」(institut)で「研」、何らかの場面で「会」(集会・会議)など再利用が見込まれ、学習効果は高め。
12. lecion / 课 /  
    「(授業の)課・レッスン」を示す簡体字は「课」。単独でも「本日の课」(今日の授業)のように使われる。 /  
    日中ともに「課」の簡体形。10画だが「课程」などにも使われるため汎用性あり。
13. kurs / 课程 /  
    コース/講座/講習を表すのに「课程」が標準的。 /  
    「课」(既出)＋「程」(新出)で構成。「程」は日常用語で「程序(プログラム)」「工程(工事・工程)」など広く再利用可能。
14. doktor / 博士 /  
    学術称号としての「博士(PhD)」をそのまま簡体字表現に。 /  
    「博」(12画)＋「士」(3画)。後述の「博物馆」(博物館)でも「博」を再用するため、一度覚えれば活用範囲は広い。
15. profesor / 教授 /  
    大学教授などを指す際に標準的な語は「教授」。 /  
    「教」(既出)＋「授」(新出)。いずれ「授業」や「传授(伝授)」などで「授」を使い回す余地がある。
16. dekan / 院长 /  
    「学部長」「学院の長」に当たる呼称として中国語では「院长」がよく用いられる。 /  
    「院」(新出)＋「长」(新出)だが、この後の「校长」などで「长」を再用予定。
17. rektor / 校长 /  
    大学の「学長」「総長」を指す一般的な表現は「校长」。 /  
    「校」(新出)＋「长」(既出)。学校関連では「校」は頻出なので学習の汎用性は高い。
18. institut / 研究所 /  
    「研究所」を直接示す熟語として最も一般的なのは「研究所」。 /  
    「研」(既出)＋「究」(新出)＋「所」(新出)だが、いずれ「探索」「场所」などで「所」も転用可能。
19. instituci / 机构 /  
    「機関」「施設」「組織」を指す語として簡体字の「机构」が一般的。 /  
    「机」(新出)＋「构」(新出)だが、どちらも「机械(機械)」「构造(構造)」などで再利用しやすい。
20. bibliotek / 图书馆 /  
    「図書館」を意味する簡体字での定番は「图书馆」。 /  
    「图」(新出)＋「书」(新出)＋「馆」(新出)。文字数は多いが、「书(書)」や「馆(館)」は日常語に度々登場し、次の「博物馆」にもつながる。
21. muze / 博物馆 /  
    「博物館」を表す最も標準的な語が「博物馆」。 /  
    既に「博」(博士)と「馆」(図書館)を導入済みで新出は「物」のみ。「物」は「動物」「物品」などにも用いる頻度の高い字。
22. laboratori / 实验室 / 中国語で最も一般的な「実験室」の表現 / 「实」「验」「室」はいずれも高頻度かつ初学者にも比較的馴染みやすく、意味も分かりやすい
23. observatori / 天文台 / 天文観測所として広く使われる表現 / 「天」「文」「台」はいずれも基本的・常用的な漢字であり、日本語の「天文台」にも対応していて認識しやすい
24. komitat / 委员会 / 委員会(committee)の標準的中国語 / 「委」「员」「会」は今後も他の政治・団体用語で再利用される可能性が高く、学習コストを抑えられる
25. komision / 委员会 / 調査委員会・コミッション(commission)の意味だが、中国語では同じく「委员会」で対応可 / 上付き文字等で区別予定なので重複割当でも問題なし
26. senat / 参议院 / 上院・元老院などを指す「senate」の中国語 / 「参」「议」「院」はいずれも常用字で「国会(议会)関連」の文脈で頻出
27. parlament / 议会 / 一般に「議会」「国会」を表す / すでに「会」「议」は出現済みで、重複利用により学習コストを下げられる
28. konsistori / 枢机会议 / カトリック教会の枢機卿会議を指す語 / 「枢」「机」「会」「议」のうち、「会」「议」は既出のため流用しやすい
29. sinod / 主教会议 / 教会会議（特に司教・主教会議としての「synod」） / 「主」「教」「会」「议」は、うち「会」「议」が既出で重複利用が可能
30. konferenc / 会议 / 会議・協議・カンファレンスを指す語 / 「会」「议」は再利用可能で学習コストが低い
31. kongres / 大会 / 代表大会・コンベンション等を指す / 「大会」はごく基本的表現で、「会」も再利用しやすい
32. asemble / 大会 / 総会・集会を含む「アセンブリ」の意味 / 「大会」で代用して重複利用とし、学習コストを低減
33. teodor / 西奥多 / Theodor/Theodoreなどの人名表記として比較的一般的 / 「西」「奥」「多」は人名音訳でよく使われる文字
34. jod / 碘 / ヨウ素(iodine)の中国語化学名 / 専門用語だが「碘」は唯一の常用表記
35. sod / 苏打 / ソーダ(soda)の中国語表記 / 「苏」「打」は比較的画数も多くなく、日常語にも出現しやすい
36. jud / 犹太人 / ユダヤ人を指す / 「犹」「太」「人」はいずれも初学段階でも出会いやすい常用字
37. jud/ism## / 未対応 / 「語根ではない(末尾に##)」ため割当を行わず
38. judaism / 犹太教 / ユダヤ教(Judaism) / 「犹」「太」「教」は「jud」「judaism」で重複しつつも分かりやすい
39. johan / 约翰 / ヨハン(Johann)の定訳的転写 / 「约」「翰」はキリスト教圏の人名に多用
40. jozef / 约瑟夫 / ヨセフ(Joseph)の定訳的転写 / 「约」「瑟」「夫」は音訳でしばしば登場
41. aŭgust / 八月 / 8月を意味する / 「八」「月」は数字と月名として基本的
42. aŭgust## / 未対応 / こちらも末尾「##」につき語根ではない個人名扱い。割当は行わず
43. juli / 七月 / 7月を意味する / 「七」「月」はどちらも基本的かつ汎用性が高い

* juni / 六月 /  
  理由: 6月を表す中国語「六月」が元。日本語圏・中国語圏とも直観的に理解しやすい。  
  学習コスト: 「六」「月」はいずれも画数少なめかつ汎用性が高い(他の語根でも使用)。
* septembr / 九月 /  
  理由: 9月を表す中国語「九月」に準拠。  
  学習コスト: 「九」「月」はすでに簡単であり、使い回しも容易。
* decembr / 十二月 /  
  理由: 12月の漢字表記「十二月」。  
  学習コスト: 「十」「二」「月」はいずれも基本的な字で、他の月名などと部品を共有。
* oktobr / 十月 /  
  理由: 10月の漢字表記「十月」。  
  学習コスト: 画数が少なく、日本人・中国人いずれも月名とすぐわかる。
* novembr / 十一月 /  
  理由: 11月を表す「十一月」。  
  学習コスト: 「十」「一」「月」を再利用するだけなので新規漢字を増やさない。
* januar / 一月 /  
  理由: 1月を表す「一月」。  
  学習コスト: 「一」「月」いずれも最も基本的な字。
* februar / 二月 /  
  理由: 2月の漢字表記「二月」。  
  学習コスト: 「二」「月」は学習済みの基本的な組み合わせ。
* mart / 三月 /  
  理由: 3月を表す「三月」。  
  学習コスト: 「三」「月」の組み合わせで新たな要素はなし。
* maj / 五月 /  
  理由: 5月の漢字表記「五月」。  
  学習コスト: 「五」「月」はいずれも画数が少なく汎用性も高い。
* april / 四月 /  
  理由: 4月を表す「四月」。  
  学習コスト: 「四」「月」もすでに登場済みの要素。
* monat / 月 /  
  理由: 「(暦の)月」を表す場合は中国語でも「月」を用いる。  
  学習コスト: すでに「月」は何度も出ており、追加学習不要。
* lun / 月 /  
  理由: 「月=moon」の意だが、中国語では「月」単独で「月亮(月)」を指す場合も多い。  
  学習コスト: 同じ「月」を再利用し、文字数を増やさない。
* sun / 日 /  
  理由: 古くは「日」が太陽を意味していた用例もあり、筆画が少なく分かりやすい。  
  学習コスト: 「日」は以下の「tag」「dat」などでも用い、追加学習不要。
* tag / 日 /  
  理由: 「日(day)」と同じ発想で「日」を割り当て。  
  学習コスト: 同字再利用（振り仮名/上付き文字等で区別予定）。
* dat / 日 /  
  理由: 「日付(date)」にも「日」を転用する。実際「日期」中にも「日」が含まれる。  
  学習コスト: 既出の「日」をそのまま使えるため新規負担なし。
* hieraŭ / 昨日 /  
  理由: 中国語・日本語ともに「昨日」の形が最も自然。  
  学習コスト: 新たに「昨」が増えるが1文字のみ(「日」は既出)。
* morgaŭ / 明日 /  
  理由: 「明日」は日本語でも「みょうにち」の読みがあり、直観的に「翌日」を示す。  
  学習コスト: 「明」1字追加。「日」は使い回し。
* semajn / 周 /  
  理由: 簡体字では「周」が「週」を兼ねる。中国語圏では「周末(週末)」などで馴染み深い。  
  学習コスト: 1字のみで済み、曜日との組み合わせで応用しやすい。
* sabat / 周六 /  
  理由: 中国語で土曜日は「周六」(=週の第6)。  
  学習コスト: 「周」+「六」は既出要素(周, 六)のみで、新規なし。
* dimanĉ / 周日 /  
  理由: 中国語「日曜日」に相当する「周日」。  
  学習コスト: 「周」「日」いずれも既出。
* ĵaŭd / 周四 /  
  理由: 木曜日は「周四」(=週の第4)と表現。  
  学習コスト: 「周」「四」は既出要素で問題なし。
* vendred / 周五 /  
  理由: 金曜日は「周五」(=週の第5)が一般的。  
  学習コスト: 「周」「五」ともに既出文字。

1. lund / 一 / 「周一(=月曜日)」の数字部分「一」を流用 /
   * 選定理由: 中国語の“周一”や“星期一”を想起しやすく、画数もわずか1画。
   * 学習コスト: 「一」は最も基本的な漢字で、汎用性が高い。
2. mard / 二 / 「周二(=火曜日)」の数字部分「二」を流用 /
   * 選定理由: 中国語の“周二”や“星期二”から直感的に連想しやすく、画数も2画。
   * 学習コスト: 「一」と同様に基本漢字。
3. merkred / 三 / 「周三(=水曜日)」の数字部分「三」を流用 /
   * 選定理由: 中国語の“周三”や“星期三”を連想しやすい。画数3画でシンプル。
   * 学習コスト: 前2つと同系列の数字なので習得の負担は少ない。
4. in / 女 / 女性を表す代表的な漢字 /
   * 選定理由: 中国語・日本語ともに「女性」を連想しやすい代表的な字。画数3画。
   * 学習コスト: 極めて基本的で汎用性の高い漢字。
5. nj / 妮 / 女性愛称を連想させる漢字 /
   * 選定理由: 中国語では「小妮子」など、女の子の呼びかけや愛称で使われる。
   * 学習コスト: やや画数はある(8画)が、「女」の偏旁が含まれており女性関連と認識しやすい。
6. bert / 贝 / 「Bert」の頭音(B〜)を漢字「贝(bèi)」で近似 /
   * 選定理由: 外国人名の音写として、よく「贝〜」が用いられるケースも多い。画数4画。
   * 学習コスト: 「贝」は「貝(かい)」の簡体字で、日本人にも比較的認知しやすい。
7. henriet / 亨 / 「Henri(亨利)」等の一部発音を示唆 /
   * 選定理由: 中国語の「亨利(Henry)」などで使われる「亨」から転用。単独1文字に集約。
   * 学習コスト: 5画で比較的シンプル。ただし実際の音写とは完全一致ではない。
8. s-ro## / 先生 / 男性敬称（Mr.）に相当 /
   * 選定理由: 中国語では「先生(xiānshēng)」＝Mr.にあたり、日本語でも「先生」として認知度高い。
   * 学習コスト: 2文字だが、ともに基本的な漢字。
9. s-ino## / 女士 / 女性敬称（Ms./Mrs.）に相当 /
   * 選定理由: 中国語で広く用いられる「女士(nǚshì)」。日本語でも「女」「士」の意味は推測しやすい。
   * 学習コスト: 2文字。どちらも画数が少なめ。
10. sinjor/in## / 淑女 / 「淑女(lady)」に相当 /

* 選定理由: 「sinjorino」を連想して「ご婦人・淑女」の意味に近い語。
* 学習コスト: 「淑」はやや画数が多め(11画)だが、「女」の再利用で女性らしさを示せる。

1. dam / 夫人 / 貴婦人 /

* 選定理由: 「貴婦(贵妇)」にするか迷うが、画数を抑えた「夫人」を採用。日本語でも「夫人」として通じる。
* 学習コスト: 合計6画(「夫」4画 +「人」2画)と比較的少ない。

1. varsovi / 华沙 / ワルシャワ（Warsaw） /

* 選定理由: 中国語の一般的表記「华沙(huá shā)」。
* 学習コスト: 2文字(「华」6画+「沙」7画)。地名としては妥当な省エネ表記。

1. vaŝington / 华盛顿 / ワシントン（Washington） /

* 選定理由: 中国語で広く定着している「华盛顿(huá shèng dùn)」。
* 学習コスト: 3文字だが、いずれも地名・人名に多用される字で汎用性あり。

1. bulonj / 布洛涅 / ブーロニュ（Boulogne） /

* 選定理由: 中国語表記として見かけるのは「布洛涅(bù luò niè)」。
* 学習コスト: 外国地名なので複数文字だが、比較的よく使う音訳要素「布」「洛」「涅」。

1. burnus / 布努斯 / ブルヌス（burnous） /

* 選定理由: アラブ圏由来の衣服「burnous」は中国語で特定の常用単語がないため、音訳「布努斯」に。
* 学習コスト: 外国語衣服名称につき複数文字に。すべて既存の偏旁なので画数は多すぎない。

1. london / 伦敦 / ロンドン（London） /

* 選定理由: 中国語の定訳「伦敦(lún dūn)」。
* 学習コスト: 2文字。非常に一般的な地名表記。

1. pariz / 巴黎 / パリ（Paris） /

* 選定理由: 中国語で定着している「巴黎(bā lí)」。
* 学習コスト: 2文字で、どちらも地名に頻出。

1. berlin / 柏林 / ベルリン（Berlin） /

* 選定理由: 中国語で定番の「柏林(bǎi lín)」。
* 学習コスト: 2文字。比較的簡単な部首で構成。

1. he / 喂 / 「おい！」 /

* 選定理由: 中国語で「人を呼びかけるとき」の発音に最も近い「喂(wèi)」。
* 学習コスト: やや画数は多い(口+畏)が、呼びかけ表現としては定着度が高い。

1. ha / 啊 / 「ああ！」(感動) /

* 選定理由: 中国語で「啊(ā)」は驚き・感嘆を広く表す感嘆詞。
* 学習コスト: 7画程度で、非常に頻出の感嘆詞。

1. ho / 呵 / 「まあ！」(驚き) /

* 選定理由: 中国語で「呵(hē)」も感嘆や驚きの語気詞として使われる。
* 学習コスト: 8画ほどだが、口偏で感嘆詞とわかりやすい。

1. fi## / 呸 / 「チェッ！」(嫌悪) /

* 選定理由: 中国語の「呸(pēi)」は不満・軽蔑・嫌悪の吐き捨て音として常用。
* 学習コスト: 7画(口+丕)だが、典型的な「嫌悪の感嘆詞」。

1. ŭa / 哇 / 驚き・感嘆の叫び声として中国語でも使われる / 口偏(口部首)は今後も感嘆詞などで使い回しやすい
2. ve / 唉 / 悲哀や嘆きを表す感嘆詞として適切 / 「口」部首を再利用でき、比較的画数も少なめ
3. dank / 谢 / 「感謝」の意味を持つ常用字「感谢」から、より画数の少ない「谢」を採用 / 偏旁「讠(言偏)」は他の語にも応用可能
4. bon/vol## / 请 / 「どうぞ～する」「どうか～してください」に近い「请」は最適 / 偏旁「讠」を再利用し、学習コストを抑えられる
5. ĉe / 在 / 「～のところに」「～で」と場所・存在を示す際に頻出 / 既に学習者にも馴染みやすい基本字
6. nu / 那 / 会話の切り出しや「さて」「じゃあ」的なニュアンスに近い / 代名詞や文頭詞など多用途で、学習価値が高い
7. pli/ig## / 加 / 「増やす」「より多くする」に対応 / 画数が少なく、ほかの複合語にも転用しやすい
8. daŭr/ig## / 续 / 「続ける」を表す「继续」の主要字を単字化 / 偏旁「纟(糸偏)」は他にも利用可能
9. hav/ig## / 给 / 「(相手に)持たせる」「与える」の意味に合致 / 偏旁「纟」と同様に「扌」(手偏)などよりは画数少なめ
10. od / 颂 / 「オード(頌歌)」に近い「頌」の簡体字 / 詩や賛美を連想させ、単字で意味が分かりやすい
11. ven / 来 / 「来る」の意味に最適な基本字 / 非常に頻度が高く他動詞形などにも転用可能
12. ĉe/est## / 参加 / 「(に)出席する」「参加する」のイメージが近い / 既出の「加」を再利用して学習負担を軽減
13. ĉj## / 哥 / 男性への親しみを込める接尾辞イメージとして「～兄(哥)」を採用 / 単字で済み、口語表現にも馴染む
14. fraŭl / 单身汉 / 「未婚の(成人)男性」を表す定訳に近く、分かりやすい / 既出「男」は再利用せず「汉」だが、頻出字
15. fianĉ / 未婚夫 / 「婚約者(男性)」を示す最も一般的な表現 / 3文字だが意味の混乱が少ない標準語
16. sinjor / 先生 / 「紳士」「Mr.」「～さん」に当たる敬称 / 漢字文化圏で広く使われ、学習コストも低め
17. vir / 男 / 「男性」「男らしさ」を表す基本語 / 非常に頻度が高く、初学者にも分かりやすい
18. edz / 丈夫 / 「夫」を指す中国語の定訳 / 2文字だが「夫」単体より意味がはっきり伝わる
19. vilhelm / 威廉 / 「ウィルヘルム」の一般的音訳 / 固有名詞として広く認知されている
20. petr / 彼得 / 「ペテロ(ピーター)」の標準的音訳 / 同様に固有名詞で頻用
21. paŭl / 保罗 / 「パウロ(ポール)」の標準的音訳 / これも固有名詞として一般的
22. romantik / 浪漫 / 「ロマンチック」を示す最も常用な表現 / やや画数は多いが、中国語でも日本語でも意味が推測しやすい

### 1) romanc

提案: 浪漫  
理由: 「ロマンス(音楽や歌曲)」の意味を最も直接的に連想しやすい中国語として「浪漫」が定着しているため。  
学習コスト: 画数はやや多め(「浪」10画＋「漫」14画)だが、日中双方で広く認知されており連想しやすい表記。

swift

Copy

romanc/浪漫/標準的な「ロマンス」の表現/やや画数は多いが日中で広く通用

### 2) amor

提案: 爱  
理由: Amor(愛の神、性愛など)を直接イメージできるもっとも基本的な「愛」の漢字。「爱神」「爱欲」などの派生表現を考える場合も、元の字は同じ「爱」で対応可能。  
学習コスト: 「爱」は非常に頻度が高く、日本人も「愛」の旧字体に馴染みがあるため理解しやすい。

swift

Copy

amor/爱/愛の神・性愛を連想しやすい基本字/学習頻度・汎用性が極めて高い

### 3) am

提案: 爱  
理由: 「(を)愛する」の動詞的用法だが、上記amorと同じ字を割り当てることで学習コストを削減。後で「愛^v」「愛^n」のように振り仮名・上付き文字で区別予定。  
学習コスト: 既出の「爱」を再利用するため新規文字なし。

swift

Copy

am/爱/動詞「愛する」だがamorと同字を使い回す/同字再利用で学習コスト削減

### 4) zamenhof

提案: 未対応  
理由: 固有名詞(人名)であり、標準的な漢字転写(例:「柴门霍夫」等)はいずれも画数・用字が多い。学習コストを抑える観点から今回は割り当てを見送り。  
学習コスト: 割り当てを行わないことで、新たな複雑漢字の導入を回避。

swift

Copy

zamenhof/未対応/固有名詞に伴う新字追加を回避/学習コスト増大を避けるため見送り

### 5) hetman

提案: 帅  
理由: ヘトマンは司令官格の歴史的称号であり、中国語の「元帅(元帥)」「帅(将帥)」に通じる“率いる”ニュアンスがある。  
学習コスト: 後述の「元帅(元帥)」とも漢字を共有(「帅」)し、重複利用による負担軽減。

swift

Copy

hetman/帅/「将帥」的な指揮官イメージを込めて/後述「元帅」と同字を使い回し

### 6) kapitan

提案: 船长  
理由: 「[海]船長」の意味を端的に示す標準的な表現。  
学習コスト: 「船」(11画)は新規だが、「长」(4画)は後続の軍階級名などでも繰り返し使用予定。

swift

Copy

kapitan/船长/船長の標準的表現/「长」は他軍階級等でも再利用

### 7) kaporal

提案: 下士  
理由: 中国語で「伍長」に相当する階級は、現代では「下士」が最も近い。軍の下級階級を示すシンプルな表記。  
学習コスト: 「下」(3画)と「士」(3画)はいずれも画数が少なく頻度も高い。

swift

Copy

kaporal/下士/現行中国軍階級「下士」を準用/いずれも画数が少ない

### 8) major

提案: 少校  
理由: 中国語で「陸軍少佐」に相当する階級は「少校」。  
学習コスト: 「少」(4画)と「校」(10画)はいずれも軍階級でよく使われる標準表記。

swift

Copy

major/少校/陸軍少佐を示す標準的階級名/軍階級を示す既存表記で学習容易

### 9) kolonel

提案: 上校  
理由: 中国語において「大佐」は通常「上校」と表記。  
学習コスト: 「上」(3画)は非常に頻度が高く、「校」はmajorと共通。

swift

Copy

kolonel/上校/「大佐」の標準表現/「上」と「校」は既出ないし再利用

### 10) leŭtenant

提案: 中尉  
理由: 中国語の軍隊用階級「中尉」が対応。  
学習コスト: 「中」(4画)は非常に頻度が高く、「尉」(11画)は軍階級として汎用的。

swift

Copy

leŭtenant/中尉/軍階級の「中尉」に相当/「中」は特に汎用性が高い

### 11) general

提案: 将军  
理由: 軍隊の「将軍」を示す標準的表現。  
学習コスト: 「将」(10画)＋「军」(6画)はいずれも軍関係で頻出の漢字。

swift

Copy

general/将军/「将軍」を直接示す表現/軍関連で頻出の漢字を再利用

### 12) oficir

提案: 军官  
理由: 軍隊の士官=「军官」で広く通用。  
学習コスト: 「军」(6画)はgeneralと共通、「官」(8画)も官職系で再利用。

swift

Copy

oficir/军官/軍の士官を示す標準用語/「军」と「官」は既出活用

### 13) serĝent

提案: 中士  
理由: 現代中国軍における「軍曹」に近い階級が「中士」。下士より上、上士より下の位置付け。  
学習コスト: 「中」(4画)は既出、「士」(3画)もkaporalと共通。

swift

Copy

serĝent/中士/「軍曹」に近い階級/既存の「中」「士」で学習コスト低減

### 14) herold

提案: 传令  
理由: 伝令使・伝令官を示すのに「传令(官)」が一般的。「传令官」としてもよいが字数を抑えるため2文字。  
学習コスト: 「传」(6画)と「令」(5画)は比較的画数が少なく、日中双方で意味連想が容易。

swift

Copy

herold/传令/伝令(官)の意/画数の少ない2字で意味も明快

### 15) marŝal

提案: 元帅  
理由: 中国語「元帅(元帥)」が「軍の最高階級」を示す最も標準的な表現。  
学習コスト: 「元」(4画)・「帅」(5画)。上記hetmanでも「帅」を使用。

swift

Copy

marŝal/元帅/軍の最高位「元帥」に対応/「帅」再利用で学習コスト低減

### 16) stab

提案: 参谋  
理由: 幕僚=「参谋」は非常に一般的(参謀本部など)。  
学習コスト: 「参」(5〜7画と数え方に差あり)と「谋」(7画)。軍用語では頻出。

swift

Copy

stab/参谋/幕僚(参謀)に対応/軍用語として頻度が高く認知度良好

### 17) admiral

提案: 海军上将  
理由: 海軍大将(Admiral)は中国語で「海军上将」。  
学習コスト: 「海」(10画)のみ新出だが、「军」「上」「将」は既出。海軍階級の中ではごく標準的。

swift

Copy

admiral/海军上将/海軍大将を示す標準表現/「海」以外は再利用字

### 18) komisar

提案: 专员  
理由: 政府・行政の「委員・専員」に近く、中国語で「～专员」は非常に一般的(公安部特派专员など)。  
学習コスト: 「专」(4画)と「员」(7画)は行政用語でも比較的頻出。

swift

Copy

komisar/专员/委員・専員を示す標準用語/短く行政にも汎用

### 19) ministr

提案: 部长  
理由: 「大臣」は中国語で「部长」と呼ぶのが一般的(例: 外交部长、国防部长等)。  
学習コスト: 「部」(10画)はやや多いが、政府関連で頻出。「长」(4画)は再利用多。

swift

Copy

ministr/部长/閣僚(大臣)を表す標準表記/「长」は既出で学習しやすい

### 20) konsul

提案: 领事  
理由: 領事は「领事」が最も一般的な表現。  
学習コスト: 「领」(约14画)は多少多いが、日中の「領」の概念と対応しやすく、「事」(8画)も行政文脈で再利用可能。

swift

Copy

konsul/领事/領事の標準表現/画数はそこそこだが日中ともに意味把握容易

### 21) prefekt

提案: 长官  
理由: 「知事」に相当する官職としては、中国語の文脈では「～长官」(地方行政トップ)が分かりやすい。  
学習コスト: 「长」(4画)と「官」(8画)はいずれも既出につき新規負担なし。

swift

Copy

prefekt/长官/地方行政トップのイメージに合致/既出文字のみで追加負担なし

### 22) kvestor

提案: 财官  
理由: 史的には「財務担当官・出納官」に近い。標準的な現代用語ではないが、シンプルかつ概念を捉えやすい二字を仮設定。  
(より正式には「财务官」「财务专员」なども考えられるが、あえて短い二字でまとめました)  
学習コスト: 「财」(7画)のみ新出。既存の「官」(8画)と組み合わせることで「財務官」的イメージを簡略表示。

swift

Copy

kvestor/财官/財務担当官のイメージ/「财」1字の追加で済む簡易表現

1. vasal / 臣 /
   * 選定理由: 「臣」は「家臣」や「臣下」の意を直接表し、日本語・中国語双方において「従属する者」「仕える者」というイメージが強い。画数(7画)も比較的少ない。
   * 学習コスト: すでに「臣」はよく知られる常用漢字。シンプルかつ意味対応も良いため、学習コストは低い。
2. eŭnuk / 宦官 /
   * 選定理由: 中国史・日本史双方で「宦官」は馴染みがあり、日本語でも「宦官(かんがん)」と読むため意味がわかりやすい。
   * 学習コスト: 「宦」(9画)はややマイナーではあるが、「官」(8画)は頻出。いずれも歴史用語として認知度が高く、宦官という2文字熟語は統一的な表記として便利。
3. ĉambelan / 侍从 /
   * 選定理由: 「侍従」の中国語簡体字表記が「侍从」。宮廷や要人に付き従う役職という点で「chamberlain(侍従)」の意味合いと合致。
   * 学習コスト: 「侍」(8画)は「人偏＋寺」と比較的わかりやすく、「从」(4画)も頻出偏旁「人」に似た構造で学習コストはそこまで高くない。
4. kadet / 士官生 /
   * 選定理由: 「cadet」は軍関連で「士官候補生」を指す場合が多い。中国語でも「士官生」は自然な表現。日本語の「士官学校」と同根語で連想しやすい。
   * 学習コスト: 「士」(3画)、「官」(8画)はいずれも基本的な漢字。「生」(5画)も学習初期で登場するため比較的負担が少ない。
5. adjutant / 副官 /
   * 選定理由: 「adjutant」＝「副官」は、中国語・日本語どちらでも軍隊における補佐官を意味する定番訳。
   * 学習コスト: 「副」(11画)と「官」(8画)はいずれも比較的よく使われる語であり、認知度も高い。
6. inkvizici / 宗教裁判 /
   * 選定理由: 「インクイジション」は通常「宗教裁判」と訳される。日本語でもそのまま漢字で意味を把握可能。
   * 学習コスト: 「宗」(8画)・「教」(8画)・「裁」(9画)・「判」(7画)で計4字とやや多いが、いずれも基礎的な漢字なので歴史用語としてまとめて学習しやすい。
7. inkvizitor / 宗教裁判官 /
   * 選定理由: 上記「宗教裁判」に「官」を付して「宗教裁判官」。機能・役職としてわかりやすい。
   * 学習コスト: 「官」(8画)は既出。「宗」「教」「裁」「判」も合わせてすでに(6)で使用。組み合わせとして連携して覚えやすい。
8. inspektor / 督察官 /
   * 選定理由: 「Inspector(査察官/監察官)」に近い意味として、中国語では「督察」や「督察官」が用いられることが多い。
   * 学習コスト: 「督」(13画)はやや画数が多いが、監督・督促などでも使われ頻度は高い。「察」(14画)も常用。「官」は重複利用。
9. revizor / 检察官 /
   * 選定理由: ロシア語の戯曲『検察官(Ревизор)』が有名なように、法的・行政的に監査・検察する役職のニュアンスを含む。日本語でも「検察官」と訳されることがある。
   * 学習コスト: 「检」(8画)は「検」の簡体、「察」(14画)、「官」(8画)はいずれも基礎語。すでに「察」「官」は(8)で登場済み。
10. delegaci / 代表团 /

* 選定理由: 「delegation」は一般に「代表団」と訳されるのがもっとも一般的。日本語でも馴染み深い表現。
* 学習コスト: 「代」(5画)、「表」(8画)、「团」(6画)はどれも基本的。熟語としても非常にポピュラー。

1. reprezent / 代表 /

* 選定理由: 「represent」の基本訳「代表」。単独でも「(を)代表する」の動詞・名詞両用が可能。
* 学習コスト: (10)と同じ「代」「表」。すでに出現しているため重複利用で学習コストを削減。

1. deput / 委派 /

* 選定理由: 「depute」は「(代理人や任務に)委任する」というニュアンス。「委派」は「任務を委任・派遣する」際に用いられる漢語として適切。
* 学習コスト: 「委」(8画)・「派」(9画)とも比較的初級～中級レベルで登場。どちらも常用性は高め。

1. notari / 公证人 /

* 選定理由: 「公証人」は法律用語。中国語でも「公证人」はそのまま「notary public」の意味で広く認知されている。
* 学習コスト: 「公」(4画)、「证」(7画)、「人」(2画)はシンプルで基礎的。総じて画数も少ない。

1. kurator / 管理人 /

* 選定理由: 「管財人」「保管人」「監護人」など多義だが、まとめて「管理人」とすると「財産管理」「後見・監督」等の含意が比較的広くカバーできる。
* 学習コスト: 「管」(14画)はやや多いが、よく使われる。「理」(11画)は初級学習レベルにも登場。「人」は既出。

1. agent / 代理人 /

* 選定理由: 「代理人」は日本語・中国語双方で最も標準的な訳語。
* 学習コスト: 「代」(5画)・「理」(11画)・「人」(2画)。すでに「代理」という形も馴染みやすく、先行の漢字とも重複多数で負担は小さい。

1. advokat / 律师 /

* 選定理由: 現代中国語で「弁護士」に該当する最も一般的な単語。日本語の「律」「師」も把握しやすい。
* 学習コスト: 「律」(9画)、「师」(6画)はいずれも基本的な簡体字であり、法曹関連用語としての登場頻度も高い。

1. asesor / 助审员 /

* 選定理由: 「陪席判事」「副査」のように裁判所で審理を補助する役をイメージ。中国語では「助理审判员」「助审员」等が使われる。
* 学習コスト: 「助」(7画)、「审」(8画)、「员」(7画)は比較的初歩で習う。合計3文字だが、いずれも基礎度が高い。

1. mentor / 导师 /

* 選定理由: 「mentor＝良き指導者」→中国語では「导师」が最も一般的。日本語の「導師」と近く、意味も把握しやすい。
* 学習コスト: 「导」(3画)、「师」(6画)は画数が少なく、常用頻度も高め。

1. orator / 演说家 /

* 選定理由: 「雄弁家」「演説者」のニュアンス。中国語では「演说家」が一般的。日本語でも「演説家」として理解可能。
* 学習コスト: 「演」(9画)、「说」(9画)、「家」(10画)はいずれも頻用漢字なので比較的覚えやすい。

1. profet / 先知 /

* 選定理由: 宗教文脈の「預言者」に相当。中国語では「先知」がシンプルかつ代表的。
* 学習コスト: 「先」(6画)、「知」(8画)はどちらも初歩学習レベルで、短く直観的。

1. ist / 者 /

* 選定理由: エスペラント接尾辞「-ist-」は「従事者・専門家」を表す。中国語の「…者」は広く「～する人」を表現でき、汎用性が高い。
* 学習コスト: 「者」(8画)のみ1文字。すでに多くの語で終止形として応用しやすく、最小限の追加負担に抑えられる。

1. patron / 赞助者 /

* 選定理由: 「後援者」「支援者」などの意。「赞助者」は「金銭的・精神的に支援する人」を指す標準的表現。
* 学習コスト: 「赞」(15画)はやや多いが、現代中国語で「赞助」「赞成」など頻度は高い。「助」(7画)・「者」(8画)はいずれも既出ないし基本漢字。

1. anonim / 匿名 / 「anonymous(匿名)」を最も直接的に表す簡体字表現 / 「名」は他語根でも使用予定。「匿」(10画)は新規導入だが、意味との対応が明快。
2. pseŭdonim / 笔名 / 筆名(ペンネーム)を表す最も一般的な簡体字表現 / すでに使用している「名」と組み合わせ。「笔」(10画)は新規導入だが、中国語でも日常的によく使われる字。
3. pseŭd / 伪 / 「pseudo, fake(偽)」を表すシンプルな1文字 / 6画と画数も少なく、偽装・偽物を表すのに適当。
4. nom / 名 / 「名前」を最も直接的に表す基本字 / 中国語・日本語ともに「名」は非常に分かりやすい。複数箇所で再利用。
5. titol / 题 / 「タイトル」「題目」を表し得る1文字 / 厳密には「題(タイトル)」の意味を完全に1文字で示すにはやや広義だが、簡潔かつ日本語・中国語の両方で連想が可能。後に「问题(問題)」「标题(タイトル)」などで使う可能性もあり汎用性は高い。
6. nominal / 名义 / 「名目上の」「名義上の」を直接示す熟語 / すでにある「名」を再利用し、「义」(3画)を新規導入。中国語では “在名义上(名義上は)～” などの形で使われる。
7. nominativ / 主格 / 文法用語として定訳のある「主格」 / 「主」(5画)は後に再利用予定。「格」(10画)は新規だが、ほかの文法関連語にも転用可能。
8. fam / 有名 / 「有名だ」「名高い」を表す最も直截的な熟語 / すでに導入の「名」に「有」(6画)を足すことで学習しやすい。日本語でも同形。
9. virtuoz / 名人 / 「名高い人」「大家」「達人」の意味 / 「名」再利用＋「人」(2画)を導入。「人」は非常に基本的な字で、今後も汎用性が高い。
10. reputaci / 名声 / 「評判」「名声」を直接表す熟語 / 「名」再利用＋「声」(7画)を導入。中国語では「名声好(評判が良い)」などの形で用いられる。
11. honor / 荣誉 / 「名誉」「栄誉」「栄えある称号」等を最も直接的に表す / 「荣」(9画)と「誉」(13画)はいずれも初出だが、“honor”を端的に示す標準的表現。
12. glor / 光荣 / 「栄光」「光栄」を表す代表的な熟語 / 先の「荣」を再利用し、「光」(6画)のみ新規導入。日本語でも「光栄」の表記は馴染みがあり、イメージをつかみやすい。
13. prelat / 主教 / カトリック等における高位聖職者(司教/大司教など)を指す / 既出の「主」を再利用。「教」(10画)は新規導入だが「教育」「教会」など汎用的に用いられる字。
14. superlativ / 最高级 / 文法用語としての「最上級」 / 「最」(12画)・「高」(10画)・「级」(6画)はいずれも日常でよく使われる字。文法用語として中国語で定着した表現。
15. eminenc / 阁下 / 枢機卿など「台下(Your Eminence)」に相当する尊称を、中国語圏では「阁下」で統一する例が多い / 「阁」(9画)と「下」(3画)を導入。ただし「阁下」は他の敬称(Excellency等)にも広く転用可能。
16. moŝt / 阁下 / (尊称)「閣下」を同一表記で流用 / 上記(eminenc)と同じく「阁下」。既出のため追加学習不要。上付き文字等で区別予定。
17. ekscelenc / 阁下 / (敬称)「閣下」を同一表記で流用 / 同じく既出「阁下」を転用。追加学習不要。
18. for/est## / 不在 / 「不在だ」「留守だ」「欠席している」 / 「不」(4画)と「在」(6画)はいずれも基本的語彙。中国語・日本語ともに「不在通知」などで馴染み深い。
19. ajn / 任何 / 「どれでも」「いかなる～でも」 / 「任」(6画)と「何」(7画)の2字熟語。中国語では “任何人(誰でも)” “任何事(何でも)” という形で日常的に使われる。
20. nenial / 无故 / 「どんな理由もなく」「無理由に」「無原因に」 / よく使われる四字熟語は「无缘无故」だが長いため、ここでは2文字の「无故」(4画+9画)を採用。理由・原因が「無い」ニュアンスは十分伝わる。
21. neniel / 绝不 / 「どうしても～ない」「断じて～ない」「決して～ない」 / 中国語の強い否定表現。既出の「不」を再利用し、「绝」(9画)を新規導入。 “绝不可能(絶対に不可能)” 等でよく使われる。
22. nenies / 无主 / 「誰のものでもない」「所有者不在」 / 「无」(4画)と「主」(5画)の組み合わせで「主(所有者)がいない」ことを示す。re主格・主教で導入済みの「主」を再利用できるため学習コストを抑えられる。
23. neniu
    * 提案: 无人
    * 理由: 「だれもいない」「どのもない(人)」という意味に対して、中国語の「无人」がもっとも直接的。
    * 学習コスト: 「无」(画数少)と「人」(画数2)はいずれも頻出の基本漢字。
24. neniu##
    * 提案: 无人
    * 理由: 語根ではない(##印)が、上記neniuと意味は同じため参考として同じ割当を提示。
    * 学習コスト: 新規導入なし(上記と同じ「无」「人」の再利用)。
25. sen
    * 提案: 无
    * 理由: 「〜なしで」「〜を持たずに」に対応する最も簡明な漢字。「無(繁体)」の簡体字。
    * 学習コスト: 既に「无」は登場しており、画数も少ない。
26. ne
    * 提案: 不
    * 理由: 中国語の基本的な否定語。「ない」「〜でない」を最短かつ分かりやすく表す。
    * 学習コスト: 「不」は画数4で初級学習範囲、汎用性も高い。
27. neniom
    * 提案: 毫无
    * 理由: 「少しも〜ない(数量)」に最も近い中国語定型表現は「毫无(…都没有)」。
    * 学習コスト: 「毫」はやや画数が多い(11画)が、「毫无」としてよく使われる熟語なので意味が掴みやすい。
28. nenia
    * 提案: 无类
    * 理由: 「どんな種類(性質)の〜も〜ない」の意を「無い(无)＋種類(类)」で表現。「无类」は直訳的だが「無類」「无类」などの語感から「種類が全くない」を連想しやすい。
    * 学習コスト: 「无」は既出、新規の「类」(10画)は頻用字であり学習価値も高い。
29. nek
    * 提案: 也不
    * 理由: 「〜もまた〜ない」＝「neither/nor」に相当。「也不」は「また〜ない」をシンプルに表す熟語。
    * 学習コスト: 「也」は3画と少なく、「不」は既出。
30. nenie
    * 提案: 无处
    * 理由: 「どこにも〜ない」を「无(ない)＋处(場所)」で簡潔に示す熟語「无处(可…)」。
    * 学習コスト: 「无」は既出、「处」(5画)も比較的使用頻度が高く、再利用しやすい。
31. neniam
    * 提案: 永不
    * 理由: 「決して〜ない」「(いつでも)絶対に〜しない」のニュアンスを「永(ずっと)＋不(〜ない)」で表せる。
    * 学習コスト: 「不」は既出、「永」(5画)も初級範囲。
32. tia
    * 提案: 那样
    * 理由: 「そんな〜、あんな〜」→「那样」(直訳: あのような)。
    * 学習コスト: 「那」(6画)と「样」(10画)は現代中国語で極めて頻用。
33. t.e. (tio estas)
    * 提案: 即
    * 理由: 「つまり」「すなわち」を1文字で表す代表的な漢字。「即ち」に相当。
    * 学習コスト: 7画程度で比較的シンプル、かつ常用。
34. ĝi
    * 提案: 它
    * 理由: 中国語の第三人称代名詞(事物・動物に対する「それ/it」)として自然。
    * 学習コスト: 「它」(5画)はよく使われる字。
35. tiu ĉi##
    * 提案: 这
    * 理由: 「この」に対応。語根ではないが、参考としては「这」が妥当。
    * 学習コスト: 既に「那」などと対になる基本字(7画)。「这」「那」はよく出てくる対比。
36. tiam
    * 提案: 那时
    * 理由: 「その時・あの時」。中国語で「那时(当时)」と同義。
    * 学習コスト: 「那」は既出、「时」(7画)も基本字。
37. do
    * 提案: 那么
    * 理由: 「それでは」「そこで」「じゃあ」などの繋ぎによく使われる。「那么」は口語でも頻出。
    * 学習コスト: 「那」は既出、「么」は3画と少なく、「什么」などでも再利用しやすい。
38. jen
    * 提案: 未対応
    * 理由: 「ここに〜がある」「さあご覧ください」のようなニュアンスを1〜2文字で正確に表す単語が見つかりづらい。
    * 学習コスト: 必要があれば後日再検討・熟語化を検討。
39. tie
    * 提案: 那里
    * 理由: 「そこ・あそこ」。中国語の「那里」が直訳的に対応。
    * 学習コスト: 「那」は既出、「里」(7画)も基本的な場所語。
40. tie ĉi##
    * 提案: 这里
    * 理由: 「ここ」を示す。語根ではないが「这里」は「那里」と対応した形。
    * 学習コスト: 「这」は既出、「里」も上記再利用。
41. ĉie
    * 提案: 到处
    * 理由: 「いたるところ・どこでも」。現代中国語で「到处」は非常に一般的。
    * 学習コスト: 「处」は既出、「到」(8画)は比較的頻用。
42. kie
    * 提案: 哪里
    * 理由: 「どこ(疑問)」。口語では「你去哪里？」のように多用される表現。
    * 学習コスト: 「里」は既出、新規の「哪」(8画)が必要だが疑問詞として汎用。
43. ie
    * 提案: 某处
    * 理由: 「どこか(不特定)」に相当する表現。「某处」は書き言葉ながら意味が明瞭。
    * 学習コスト: 「处」は既出、「某」(9画)は“ある〜”の意で日中ともに理解しやすい。
44. kia
    * 提案: 怎样
    * 理由: 「どんな(性質)？」「どういう？」。日常中国語の「这是什么样的…？」にも近い。「怎样」は疑問のニュアンスを簡潔に示す。
    * 学習コスト: 「样」は既出、「怎」(9画)のみ新規だが「怎么」「怎样」など多用される。
45. kies / 谁的 / 「kies」は「誰の(所有)」を表すので「谁(誰)＋的(〜の)」で所有の意味が明確 /
    * 「谁」(簡体字8画)と「的」(8画)はいずれも非常に使用頻度が高く、学習コストを抑えやすい
46. kiu## / 谁 / 「kiu」は「誰／どれ(個別)」だが、中国語の疑問代詞「谁(誰)」が最も近い /
    * すでに1で使った「谁」を再利用でき、学習コストも低い
47. kiu / 谁 / 上と同様 /
    * 同一の疑問代詞として「谁」を使い回すことで漢字の種類を増やさない
48. jes / 是 / 「yes(はい)」に相当し、中国語では肯定応答として「是」が代表的 /
    * 「是」は日本語でも「〜は〜です」の「です」の語源漢字などで馴染みがあり、比較的理解しやすい
49. se / 若 / 「もし〜なら(if)」を表す。現代口語では「如果」「假如」などが一般的だが、1文字なら古くから「若」が「もし〜なら」の意で使われる /
    * 「若」はやや文語的だが1文字かつ画数8で、それほど複雑ではない
50. sed / 但 / 「しかし(but)」の意味を1文字で表す場合、「但是」より省画で頻出度も高い「但」を採用 /
    * 「但」は日本語でも「但し…」の形で使われ、直感的に理解しやすい
51. kvankam / 虽 / 「〜だけれども(although)」。本来は「虽然」で2文字だが、簡体字の「虽」(旧字:「雖」)が省画であり意味も通じる /
    * 日本人にはやや馴染み薄い簡体字だが、短くまとまる利点がある
52. tamen / 却 / 「しかしながら」「それにもかかわらず(nevertheless, however)」を簡潔に表す1文字として「却」を使用 /
    * 「但是」「然而」などより画数が少なく、既出の「但」(sed) とも区別がつく
53. tamen## / 却 / 上記「tamen」と同義のため同一割当 /
    * 同じ文字を使い回すことで学習コストを低減
54. eĉ## / 连 / 「〜さえ(even)」を中国語で表す際は「甚至」「连…都」などが一般的だが、1文字なら「连」が最も近い /

* 「連(繁体)」を簡体化したもので、画数7。日本語の「連(つら)なる」で連想可能

1. ankoraŭ / 还 / 「まだ(still/yet)」を表す最頻出の簡体字として「还」(繁体:「還」)を採用 /

* 画数7だが、きわめて使用頻度が高く「仍」よりも日本人に馴染みがある

1. kiom / 多少 / 「何番目・どれほど(how many/how much)」の意味で中国語では「多少」が最も直接的 /

* 「多」は後述の「mult(多)」と共通、「少」も基本漢字なので比較的学びやすい

1. kiom## / 多少 / 上と同義 /

* 繰り返し利用することで漢字の種類を増やさない

1. kiom## / 多少 / 上と同義 /

* 同じく再利用

1. kelk / 几 / 「いくつかの(some / a few)」。中国語では「几(幾)」が「いくつか」「いくらかの少数」を指す際に用いられる /

* 画数2で極めてシンプル。「疑問(〜いくつ？)」のイメージもあるが「数個」を表す用法もある

1. iom / 些 / 「多少・いくらか(a bit, some)」。口語的には「一些」「一点」などもあるが、1文字なら「些」 /

* 「些」は8画とやや多めだが、「一 些」などにも使われる常用要素

1. mult / 多 / 「多くの(many)」。最も直接的で簡単な漢字 /

* 画数6、頻度も高い。日本語でも「多い」のイメージがつきやすい

1. tiom / 那么多 / 「そんなに(量が)多い(so much, that many)」。自然な中国語表現は「那么多」 /

* 3文字だが高頻度表現。「那」(6画)、「么」(3画)、「多」(6画)はいずれも常用漢字で汎用性高

1. plej / 最 / 「最も(most)」。中国語でも日常的に使う超頻出漢字 /

* 画数6で意味が直感しやすい

1. maksimum / 最大 / 「最大(maximum)」。直訳かつ「最」＋「大」で分かりやすい /

* 「最」(6画)は既出＋「大」(3画)のみ追加で済み、学習コストが低い

almenaŭ / 至少 /  
選定理由: 現代中国語で「少なくとも」を意味する常用表現。日本語話者にも「少」の字から最低限のニュアンスが伝わりやすい。  
学習コスト: 2文字(「至」「少」)だが、どちらも画数は比較的少なく、今後「少」など他語根の割当にも転用可能。

1. minimum / 最小 /  
   選定理由: 「最小」は日常的に「minimum」を示すごく一般的な表現。日本語でも「最小」と書けば直感的に意味がわかる。  
   学習コスト: 2文字(「最」「小」)。どちらも頻出漢字であり、他の最上級表現(「最大」「最高」など)にも転用が期待できる。
2. ĉia / 各种 /  
   選定理由: 中国語で「各种」は「あらゆる種類の」「いろいろな」を意味する。日本語話者も「各」「種(種子の種の簡体字)」という形から大まかに「いろいろな種類」のニュアンスを把握しやすい。  
   学習コスト: 2文字(「各」「种」)。どちらも高頻度かつ他の割当(「各○」「○种」)にも応用可能。
3. tut## / 未対応 /  
   選定理由: 末尾に「#」があり語根ではないため割当は行わず。  
   学習コスト: ―
4. ĉiom / 全部 /  
   選定理由: 「全部」は「全て(量的にも)」を表す常用語。日本語でも「全」「部」と分解すれば「全体量」というイメージがつかみやすい。  
   学習コスト: 2文字(「全」「部」)。いずれも頻出で他の用法(「全部門」「全部分」など)にも転用しやすい。
5. tut / 全 /  
   選定理由: 「tut」は「全部」「全体」を意味するため、中国語の単字「全」でカバー可能。日本語でも「全体」「完全」などに用いられる字で意味が直感しやすい。  
   学習コスト: 1文字。常用字であり画数も6画と比較的少ない。
6. respektiv / 各自 /  
   選定理由: 「それぞれの」「各自の」を示す中国語表現。「分别」と悩むが、「各自」の方が「各々の持ち分」というニュアンスに近く、形容的にも使いやすい。  
   学習コスト: 2文字(「各」「自」)。既出の「各」を再利用しており、「自」も比較的画数が少なくよく使われる字。
7. po / 各 /  
   選定理由: 「~ずつ」「各々に対して」を示したいとき、中国語で単字なら「各」が分かりやすい。  
   学習コスト: 1文字。すでに上記で使用中のため追加コストはほぼない。
8. ĉies / 众人 /  
   選定理由: 「各人の」「みんなの(所有)」という意味合いを、簡潔に「众人(＝多くの人々、皆)」で示す。厳密には所有の含みが弱いが、単字・短熟語での表現として妥協。  
   学習コスト: 2文字(「众」「人」)だが、ともに初級学習で登場する頻出漢字。
9. ĉiu / 每 /  
   選定理由: 「各々」「毎～」という意味を表すとき、中国語の「每」は最も典型的。  
   学習コスト: 1文字。比較的よく使われる常用字で、画数も7画で許容範囲。
10. ĉiu## / 未対応 /  
    選定理由: 末尾「#」で語根ではないため。  
    学習コスト: ―
11. ju / 越 /  
    選定理由: 「ju…des…」(…すればするほど…)における「ju」は中国語の「越…越…」構文に相当。「越」を割り当てるのが自然。  
    学習コスト: 1文字。既に他の意味で再利用される可能性もあるが、よく目にする字でもある。
12. ol / 比 /  
    選定理由: 「～よりも」の比較は中国語で「A 比 B～」が基本構文。  
    学習コスト: 1文字で画数も4画と少なく、学習負担が低い。
13. des / 更 /  
    選定理由: 「それだけますます」「いっそう～」を示す際に中国語では「更加」「越发」などがあるが、1文字なら「更」が比較的使いやすい。  
    学習コスト: 1文字(7画)。日本語でも「変更」「更に」などで馴染みがあり、比較的連想しやすい。
14. pli / 多 /  
    選定理由: 「より多い」「more」のイメージを表すには、最も端的に「多」が適合。  
    学習コスト: 1文字(6画)。頻出字なので早期習得しやすい。
15. plu / 再 /  
    選定理由: 「さらに」「なお続けて」「もう一度」というニュアンスを持つため、中国語の「再」が比較的近い。  
    学習コスト: 1文字(6画)。日本語でも「再開」「再度」などで使われるためイメージしやすい。
16. preter / 超 /  
    選定理由: 「(そばを)通り過ぎる」「～を越える」という感覚は中国語で「超(越える/超過)」が近い。  
    学習コスト: 1文字(12画)。やや画数多めだが、「超」は日本語でも「スーパー(超音波・超大国)」などで馴染みがある。
17. pas / 过 /  
    選定理由: 「通過する」「過ぎ去る」は中国語で「过」が最もシンプル。  
    学習コスト: 1文字(5画)。既出の関連表現(「经过」「越过」など)にも転用しやすい。
18. sur / 上 /  
    選定理由: 「～の上に」は中国語で「在～上面」が基本だが、簡単に単字なら「上」で十分伝わる。  
    学習コスト: 1文字(3画)で極めて初歩的・頻出。
19. trans / 越 /  
    選定理由: 「～の向こうに」「渡る」は中国語で「越える」の意味にも近いため、既に用いた「越」を再利用。  
    学習コスト: ju(12番)でも「越」を使っているが、使い回しは可とする方針に合致。
20. kontraŭ / 反 /  
    選定理由: 「反対する」「向かい合う」「対抗する」を表すのに最もシンプルな字が「反」。  
    学習コスト: 1文字(4画)で非常に基本的。「反対」「反映」など日中でよく使われる。
21. al / 向 /  
    選定理由: 「～へ」「～に向かって」という方向性は中国語で単字「向」が最適。  
    学習コスト: 1文字(6画)。日本語圏でも「方向」「向上」などの熟語で見慣れた字。

ĉiam / 永 / 「永」は“永遠・永久”を表し、日本語・中国語双方で「いつまでも」のニュアンスが伝わりやすい / 筆画がわずか5画でシンプルかつ広く認知される

1. oft / 频 / 「频」は“頻度、頻繁”など「たびたび」「よく起こる」の意を含む。日本語でも「頻度」(ヒンド)として馴染みがある / 10画前後だが、ほかに“しばしば”を1字で表す手頃な候補が少ないため採用。学習コストは妥当
2. kiam / 何时 / 「何时」は「いつ？」の直訳に近く、“when”の機能をシンプルに示せる / 「何」「时」の2文字を組み合わせているが、いずれも他で転用可能な汎用性が高い文字。学習コストを抑えつつ意味も明確
3. iam / 一时 / 「一时」は「ある時」「しばらくの間」「一時的に」の意味合いがあり、過去・未来を含む“ある時点”を漠然と表せる / 「一」「时」いずれも基礎的な文字で、(3)の「时」と重複利用できるため学習コストを削減
4. ia/foj## / 未対応 / 語根ではない注記があり、単独の割当が難しいため今回は未対応 / —
5. adiaŭ / 再见 / 「再见」は“中国語の標準的な別れの挨拶”として広く知られ、日本語圏でも意味が推察しやすい / 「再」「见」はどちらも頻出漢字なので、学習コストは比較的低い
6. jam / 已 / 「已」は「すでに」「終わる」のニュアンスがあり、“already”の意味に近い / わずか3画で習得しやすい。単独でも「すでに」を示しやすい
7. antaŭ / 前 / 「前」は「まえ」「以前」を指し、日本語でもまったく同形・同義で広く理解可能 / 9画だが、すでに多くの学習者に馴染みのある基本漢字
8. anticip / 预 / 「预」は「予め（あらかじめ）」「事前に」「先立って」という意味を持ち、“anticipate”に通じる / 4画と少ないわりに「予想(预测)」「予期(预期)」「予見(预见)」など汎用性が高く、学習コストも悪くない
9. apenaŭ / 仅 / 「仅」は「わずかに」「わずかしかない」という意味を含み、“barely, hardly”に対応 / 4画と比較的簡単で、「仅仅」の形で「やっと」「かろうじて」の意にもなる
10. apenaŭ## / 仅 / (10)と同義かつ語根ではない注記付き。同じ文字を再利用可能 / 使い回しなので新規漢字は増えず、学習コストは増えない
11. aŭ / 或 / 「或」は「または」「あるいは」の意を古くから持ち、“or”に比較的近い / 8画だが「或者(huòzhě)」などにも含まれる頻出要素であり、汎用性はまずまず
12. ĉu## / 未対応 / 語根ではない注記があり、「~かどうか」を1字で対応させるのは困難なため未対応 / —
13. ĉu / 吗 / 中国語の疑問文を作る語尾「吗」は yes/no の質問を表す / 6画で覚えやすく、疑問のニュアンスを直接示せる
14. kvazaŭ / 如 / 「如」は「もし〜のようならば」「〜のごとく」など条件・比喩を表し、“as if”のニュアンスと親和性が高い / 6画で、日本語の「如し」(ごとし)の感覚とつながりがあり、活用範囲も広い
15. kvazaŭ## / 如 / (15)と同義かつ語根ではない注記。同じ文字を再利用 / 新規漢字が増えず学習コスト低減につながる
16. probabl / 大概 / 「大概」は「だいたい」「おそらく」「多分」の意があり、“probably”に近い / 2文字だが非常に一般的な表現で、日本語にも「大概（たいがい）」の形で存在するため理解しやすい
17. ebl / 可能 / 「可能」は「できる」「実現しうる」という意味で、“possible”に直結 / 「可」「能」どちらも使用頻度が高い基本漢字で、他の派生語にも転用しやすい
18. sub / 下 / 「下」は「した」「下部」を意味し、“under, below”に対応 / 3画と非常に少なく、中国語・日本語双方で意味が直感的に分かりやすい
19. post / 后 / 「后」は簡体字で「後」(うしろ・あと)を表し、“after, behind”に対応 / 6画と少ない上、日本語の「後」と形は違うが意味は共通で覚えやすい
20. dum / 当 / 「当」は文脈次第で「〜の時」「〜している間」として使われ、“while, during”をある程度カバーできる / 6画。中国語表現の「当…时」などに転用可能
21. dum## / 当 / (21)と同義かつ語根ではない注記。同じ文字を再利用 / 新規の漢字を増やさないことで学習コストを抑制